

就職特集 “ガトナ” 社会人への階段

■ 企業・官庁の方から



就職活動を始める前に 考えてほしいこと

株式会社アソウ・ヒューマニーセンター

常務取締役・人事部長 **たきがわ 瀧布川 雅裕**

行動力のある若者に期待

山口大学の皆様、こんにちは。アソウ・ヒューマニーセンターの瀧布川と申します。当社は例年新卒の採用を行っており、今年も例年通り予定しております。この場で、我々が求める人材や学生に求めることを知りたいだけたらと思います。

当社は現在、ひとつの転機を迎えております。と申しますのも、団塊の世代が定年を迎え、企業が人を必要とするようになるからです。人材を扱う会社として、これはプラス要素と言えます。しかし一方では派遣社員が正社員化することが予想されるなど、難しい局面を迎えていることも事実です。この情勢の移り変わりにどう対応していくかが重要になるため、今後、若い力に大いに活躍していただきたいと考えています。

今の学生は知識やテクニカルスキルの面で高いものを持っていると思います。その能力を存分に発揮していただきたいと考えている

わけですが、そのためには高い行動力や行動のスピードが必要になります。大学生活を過ごす中で思い切ってアクションを起こし、行動力を磨いてください。

成長の鍵はヒューマンスキル

即戦力となることも魅力ですが、長期的な目で見て会社に貢献してくれる人間に強い魅力を感じます。入社後に伸びて最終的に良い人材となれば良いのです。成長するかどうか、その鍵となるのが、ヒューマンスキルです。具体的には次の三点が挙げられます。

1. 物事に感動できる心や感謝の心を持っている
2. 素直に人の話を聞ける
3. 人の立場に立って物事を考えられる

それに加えて、働き続ける上では「自分が何のために生きていて、何のために働くのか」という信念や目的を持つことが重要になります。仕事をする上で、決して揺るがないものを持っている人は、そ

の内容に関わらずモチベーションを高く保つことができるからです。

就職するということは、仕事と生活が密接に結びつくということです。来るべき日のために、自分について、仕事について真剣に考えてみてはいかがでしょうか。

【株式会社アソウ・ヒューマニーセンター】

当社は130年の歴史がある麻生グループの1社として、1984年7月に設立いたしました。人材派遣という業種から始まり、現在では、アソウ・ヒューマニーセンターグループ8社として、一般企業から工場、医療、官公庁までさまざまな職場に、人材派遣・職業紹介、アウトソーシング、とサービスを提供し、また求職者（学生から障害者、高齢者にいたるまで）へのお仕事探しのサポート、スキルアップ等のお手伝いを行い、総合的に人に関する課題解決に取り組む総合人材ビジネス会社となりました。

■ 企業・官庁の方から



**山口大学の皆様、
こんにちは**

私は株式会社ササクラの上田です。大阪市西淀川区にある大証2部上場の環境装置メーカーです。今年4月に人事担当となり、7月には求人活動のため、大阪から防長交通夜行バス（カルスト号）に乗って、早朝、湯田温泉駅に到着後、山口大学吉田・常盤両キャンパスを初めて訪問しました。学生支援センターならびに就職担当教員の心温まるご協力を得て、お陰様で有意義な求人活動を行うことができました。

**山口県とは、実は深い
つながりが**

あと2年で創業60周年を迎ますが、創業以来、山口県の萩・美



新研究所「ササクラ テクノプラザ」

山口大学生への 熱いメッセージ

株式会社ササクラ 総務部 部長代行 上田 たけし 壮

祢・小野田・宇部からの出身者が多く、さらに1974年に操業を開始した小野田工場（現、山陽小野田市）では、現在も船舶用造水装置、海洋汚染防止装置、騒音防止装置等の製作を行っています。

**山口大学生に望む、
企業が求める人材**

環境装置メーカーとしてのものづくりに興味を持ち、機械・電気・化学の知識を活かして仕事をしてみたい人、グローバルに地球環境創造に貢献してみたい人、明るくさわやかで元気なチャレンジスピリットのある人を幅広く求めています。

今年度久々に求人の内定をさせていただいたご縁もあり、学生支援センターからのご推薦もあり、今回広報誌YU Informationへ投稿させていただく機会を与えていただきました。誠に有難うございました。

最後に、山口大学生に“誰よりも早く内定をGETするための7つの秘訣”をプレゼント

第一条 自己分析を十分行い、自己のアピールポイントを早く認識しましょう。

第二条 卒業後就職して働くという自らの意識を一日でも早く高めるようにしましょう。

第三条 学内・学外での業界・企業研究は早めに、数多く、遠くても参加しましょう。

第四条 OB・OG訪問は早い内から、機会を捉え、時間を惜しまず積極的に行きましょう。

第五条 山大生協ショップで日経新聞を申し込み、会社四季報（年4回発行）を早く手に入れましょう。

第六条 さらに早まる来年の就職戦線、世の中の波に乗り遅れないようにしましょう。

第七条 就活で困ったら就職担当教員の扉をたたきましょう。きっと素晴らしい未来が開けますよ。

株式会社ササクラ（証券コード6303）

1949年の創業以来、「水を造り、熱を活かし、音を究め、よりよい環境をつくる」をテーマに独創的な研究開発・人材育成のもと、高度な技術力で地球環境創造に役立つ装置を開発しています。豊かな地球環境づくりに貢献する技術集団。環境にもやさしく人にもやさしいササクラで一度あなたもチャレンジしてみませんか。

URL <http://www.sasakura.co.jp>

■ 企業・官庁の方から



いちばん大切なことは・・・ ～人事行政の現場から～

人事院中国事務局 第二課任用係 倉重 祐子

このたび、就職特集号に執筆を
というお話を頂戴し、不安と期待
をいっぱいに抱えながら、でも精
一杯自分の将来について考えた大
学3年生の頃を懐かしく思い出
ました。

それから6年。私は期待以上の
職場に恵まれ、国家公務員として
充実した職業生活を送っています。

『人事院』って何？

さて、皆さんは『人事院』とい
う国の機関、ご存じでしょうか？
ごく簡単に言いますと、採用から
退職まで、国家公務員の人事のあ
らゆる側面にかかわって、職員が
働きやすい環境を整える役割を担つ
ている役所です。

現在、私は採用試験及び受験者
募集等の業務を担当しています。
仕事柄、学生の皆さんをはじめ、
様々な方とお話をする機会があり、
刺激を受けることが多い毎日です。

私は、「人が好き」で「人と関わ
る仕事、広く人の役に立つ仕事
がしたい」という思いから公務を
目指しました。その意味で、まさ
に“人の事”を考える機関『人事
院』に出会えたことは非常に幸運
でした。

相手の気持ちになって 考える

皆さんは、公務員に求められる
モノとは何であると思われますか？
専門知識？ リーダーシップ？
説明能力？ 肉体的・精神的なタ
フさ？・・・

実際に、多種多様な業務を網羅
する公務においては、職員各人が
高い能力を有していることは勿論
理想的であるといえます。しかし、
これ以上に大切なものは、「相手
の気持ちになって考える」誠実な
心だと、私は思っています。どん
な能力や知識も、目指すべき方向
に正しく用いられなければ意味が
ないからです。

公務員とは、国民の方々、そし
て社会に奉仕する職業です。自ら
の仕事の向こうには必ず人がいま
す。人々が何を望むかを的確に感
知し、信頼関係を築くためには、
どれだけ相手の立場を想像できる
かが重要になってきます。相手を
思いやる心、これこそが我々公務
員に欠けてはならない基本的な資
質であると、私は考えます。

近年、公務の世界は各方面から
の批判を受けており、就職先とし

てはいささか魅力に欠けて映るか
かもしれません。しかし、それは公
務に対する大きな期待の裏返しで
す。一人でも多くの皆さんのが公務
の門を叩いてくださることを心よ
り願っています。

【人事院中国事務局】

人事院では、各府省と協力して、採
用試験情報提供のための各種イベン
トを実施しています。詳しくは、人
事院中国事務局のホームページをご
覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/jinji-cgk/>

■ 企業・官庁の方から



自己アピールを積極的に

エルクホームズ株式会社 山口支店 営業企画

(経済学部 経営学科 2006年3月卒業) 高橋 奈々

就職活動のポイント

みなさんお久しぶりです。半年前に山口大学を卒業し、現在は住宅販売の仕事で頑張っています。私の経験が皆さんの就職活動に少しでも役に立てたら嬉しく思います。

私は学生時代に不動産関係のアルバイトをしていたことがきっかけで、住宅業界に絞って就職活動を始めました。業界を絞り込んで活動をすれば予定も組みやすくなりますが、私の場合は意気込みを伝えることができたのではないかと思います。就職活動で重要なことは、積極的な自己アピールだと思います。「名前や顔を覚えてもらうため」に、説明会では一番前の席に座り、ブースには一番に顔を出して熱意をみせたり、逆に最後に並びゆっくりとお話ししたりといったことを意識的に行いました。後々、採用担当の方に聞きましたら、これは効果があったようでした。ぜひ参考にして下さい。

現在は…

次に就職してからのお話です。まず新人研修を受け、同期との親睦を図りながら、基礎的な仕事の内容や心構えを学びました。「自分の家をつくる気持ちで住まいづくりを行う」と言われたことを心にとめて約半年。上司や先輩にも恵まれ、今までに5棟のご契約をいただくことができました。その中でお客様から、「心から家づくりを楽しんでいるあなただから、家を買うことに決めた。」と言つていただいた時に、本当に嬉しく思いました。又、お客様のご要望をお聞きする『ヒアリング』について、研修で教えていただいた通りに行っていたら、社長からお褒めの言葉をいただきました。上司や先輩からのご指導を素直に聞くこと、ポイントを掴んで実践していくことが大切なんだ改めて感じました。仕事をする上で常に心がけておきたいことです。

おわりに

今の私の目標は、新人賞を獲得すること。そして、より多くのお客様の夢の住まいづくりを自分で納得いくカタチでかかわっていきたいと思っています。学生の皆さんには、大学生活をおおいに楽しんで、社会に羽ばたいていただければと思います。

【エルクホームズ株式会社】

山口県、広島県に拠点を持ちお客様の満足度第一に丈夫で快適性を求める住まいづくりを行っている住宅メーカーです。

■ 山大の就職支援



実りある大学生活

学生支援センター・就職支援部

(山口大学就職支援室) 講師 **辻 多聞**

現在の就職（採用）状況

図1を見てください。実線で示される業況DI値とは景気を表す一つの指標です。1991年にバブル景気が終焉を迎えると、それ以降、DI値は負の値を推移しています。1993年及び1999年ごろに若干上昇傾向を示しますが、その数年後には、またマイナス傾向に転じています。しかし、2002年ごろより緩やかに上昇傾向（景気回復傾向）にあることがわかります。点線は有効求人数を表しています。厳密には有効求人数には新卒者の求人数が含まれていません。しかし、有効求人数は求人傾向を示す代表値であり、新卒者の新規採用傾向も表していると考えられます。有効求人数の推移はDI値の推移を

やや右方向にスライドしたような傾向にあります。つまり、有効求人数は景気に依存して変動しているということになります。景気の回復にともない、2002年ごろより求人数が上昇しています。実際に2002年度の山口大学学部卒業生の就職内定率が75.8%であったのが、79.9%（2003年度）、89.3%（2004年度）と年々上昇しており、2005年度には93.3%となっています。2002年以降の有効求人数の上昇傾向には、景気の回復傾向に加えて2007年問題がその要因に加えられます。2007年問題とは、団塊の世代の大量退職に伴う問題のことです。以上の傾向を総合して、現在およびここ数年の大学新卒者の就職（採用）状況を推察すると、企業の募集している採用枠は大きく、

急激な景気の悪化がない限り1990年代と比較して入社しやすい傾向にあるということが言えそうです。

企業の求める人材像

上記に示したように、企業の採用枠が拡大されていることから、就職を希望している者は、大学を卒業さえすれば就職できるのでしょうか？それに対する回答は「No」です。2005年における有効求人数は、バブル景気終焉時の1991年の値よりも上回っています。確かにバブル景気最盛期では、リクルーターと呼ばれるOB・OGが大学近くに訪ねてきて、母校学生の入社勧誘を行っていました。大学卒業という肩書きだけで、一流企業に入社できたものです。しかし、不

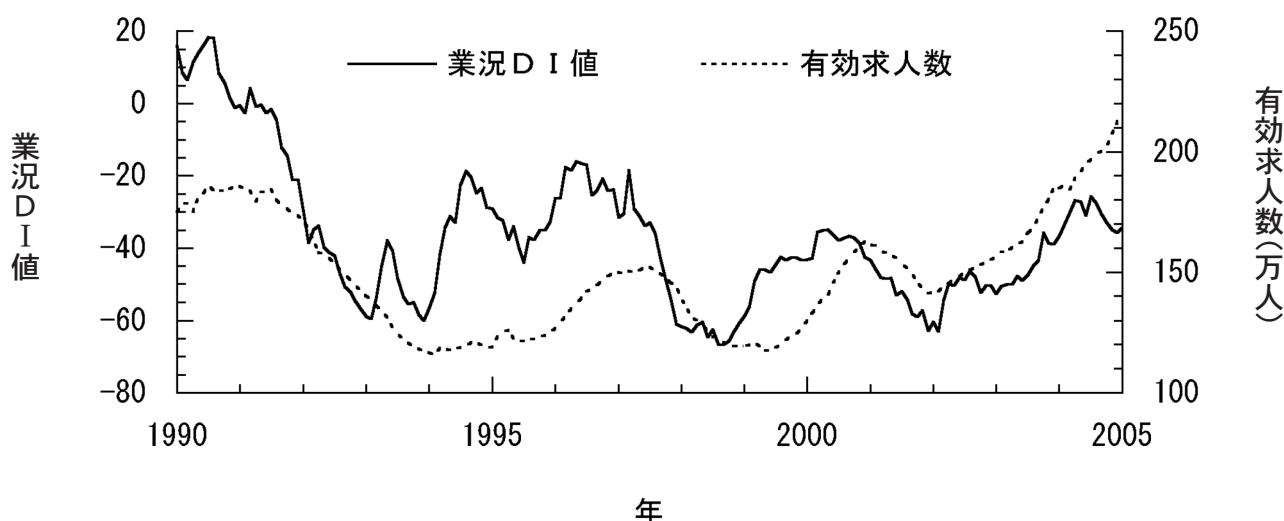


図1 景気と有効求人数の経年変化

況という時代がもたらした、経営と人員の見直し（いわゆるリストラ）と新卒者採用枠の削減が企業の採用選考基準を大きく変えました。「企業の求める人材像についてのアンケート結果」（日本経団連教育問題委員会、2004）によると、事務系人材、技術系人材とともに「社会の一員としての規範を備え、物事に使命感をもって取組むことのできる力」や「情報収集や、交渉、調整などを通じて困難を克服しながら目標を達成する力」のある人材を企業は強く求めています。わかりやすく言うと、企業は新卒者採用にあたって、学生の「夢や目標の明確さ」、「礼儀」、「社会的責任感」、「実行力」、「コミュニケーション能力」などを選考基準としているということです。時代は、働く個人や学生に「キャリア」について考えるようになってきました。つまり、採用枠は大きくとも、「厳選採用」というのが現在の就職（採用）状況の実際なのです。

キャリアを培う大学生活

卒業後は、一部を除いて自身の「キャリア」を問われる企業などの採用選考の門を叩かなければならぬのです。さらに、すべての学生は例外なく、日本の、いや世界の社会的組織の一員としての責務を果たさなければなりません。上述のように社会は今「キャリア」を求めています。私は学生の皆さんに、自身の「キャリア」を考え、大学生活を過ごしてもらいたいと考えています。本文で何度も用いた「キャリア」とは、「自分らしい生き方」と私は解釈しています。「自分らしい生き方」を知るには、まず、自分というものを知る必要があります。自分はどんな人間なのか、自分は何ができるのか、それが社会でどう役立つことなのか、これが「自分を知る」ということです。大学から提供される課題（講義）をこなしているだけでは、「自分を知る」ことは非常に困難です。

幸いにも山口大学は、サークル活動以外にも、「おもしろプロジェクト」や「インターンシップ」など、能動的大学生活を送るための機会を多く提供しています。さらに平成18年度4月より共通教育講義棟に「自主活動ルーム」を開設し、学生の能動的大学生活をサポートする空間を提供しています。「自分を知る」ためには、常に自分から動き出すこと、そして出会った出来事に客観的な評価を加えて、これらを主観的に感性豊かに捕えることが大事です。「キャリア」を考えて大学生活を過ごすことこそ、「就職活動に対する心構え」だと私は思います。学生の皆さんには、能動的で実りある大学生活を送っていただくことを、切に願っています。

学内連絡先

TEL : 083-933-5145

E-mail : ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp



■ 山大の就職支援



就職支援室から

山口大学就職支援室長（学務部 学生支援課長補佐）鴨崎 義春

就職支援室では今

今、就職支援室では4年生（修士課程2年生等も含む）のうち、就職活動を継続している学生への個別相談対応を進めつつ、3年生（修士1年生を含む）への各種ガイダンス等支援行事及び個別指導を本格的に開始したところです。

2007年春の新卒求人で大手企業の採用活動活発化、中堅企業・地場企業等での採用未充足、「売り手市場」等が報道されてきました。そうした状況を反映して、本学に対する各企業等からの求人（いわゆる秋採用、追加採用）は現在も続いている。なお、本学での「内定状況」は現在調査中であり、全体像はその集計結果を待っているところです。

個別相談、就職支援行事

「個別相談」は、「どんな仕事（業種・職種）に向いているのか、できるのかがわからない」「志望動機が明確にならない」「自分に自信が持てない」というものから、「今からでも就職活動は始めることはできるか」「留学生だが、日本での就職はできるか」というものから、「内定を2つもらったがどうすればよいか」等さまざまあり、どの学生さんも就職支援室に行け

ば何とかしてくれるかもしれない、との思いを持って訪ねてきます。

3年生への支援行事は、10月から1月にかけて、水曜日・土曜日の午後を活用して「就職ナビの活用」「業界・企業・仕事の研究」「公務員等志望者向け企画」「女子学生のためのマイク講座」等も開催します。今年度は、2月を中心開催する「学内業界・企業研究会」を昨年比4割増、250社前後の企業の参加を得て「盛大に」開催する他、大学院生への支援強化、「外国人留学生向け就職ガイダンス」、「ジョブスタディ（大手企業による異業種研究会）」、「商社業務体感ゲーム」など、「新機軸」も打ち出しています。

こうした支援事業を連続的に配置しつつ、個々の学生からの「相談」にも適切に対応するために、連日来室される企業の採用担当者からはできるだけ、求人内容の実態把握に努め、「求める学生像」等を尋ね、まだ活動を継続している学生には、その都度適当な求人を紹介する等しています。

学生のみなさんへ (教職員の皆さん のご理解も期待しつつ)

日々の個別相談を通じて、学生の皆さんに伝えたいことは、授業・

研究、要はしっかり勉強すること、クラブ・ボランティア活動・趣味・好きなこと・読書、何でもいいですから、一生懸命取り組み、楽しんで欲しいということでしょうか。

「就活」のことは気がかりでしょうし、時には焦ることもあるでしょうが、テクニック・ノウハウ・スケジュールに沿った活動だけでなく、本当に自分の好きなこと、やりたいことを失敗を恐れず取り組むことが、結果として皆さんに「就職力」をつけてくれるはずです。その経過、そこから学んだことや力が必ず必要になります。そうした自分でづくり、自分探しを大事にしてください。自分には何ができるのか、何がやりたいのか、どうありたいのか、を追求してください。それが、「自己分析」ですし、「自己PR」につながっていくはずです。そのことを、ネット上だけではなく生身の企業と接することも大事にしながら行った「企業分析」、「志望動機」と重ね合わせることができれば、面接までたどりつくことはそう難しいことではないでしょう。あとは、これもまた、今の学生生活、勉強・遊び・友達関係のなかでしっかりと自分の考え・意見を伝えることを大切にしていれば、面接という大事な場面で自分のいいところを認めてくれる企業に巡り会えると

思います。

もちろん、マナーも含めて、「技術」は必要ですし「場数を踏む」ことも大事です。自分がなかなか分からぬ時に適性を診断してくれるツールも各種あります。山口県若者就職支援センター（Y Yジョブサロン）のキャリアカウ

ンセラーの方、県内の企業事情に明るい就職アドバイザーの方もおられます。キャリア講義を担当している先生方もいらっしゃいます。遠慮することなく、臆することなく就職支援室のドアを開けてください。自分自身の将来への扉と思って。一度でも来られたら、きっと

また来ようと思っていたけるはずです。お待ちしています。

学内連絡先

山口大学就職支援室

TEL : 083-933-5167

FAX : 083-933-5198

E-mail : ga111@yamaguchi-u.ac.jp

学生支援センター

全学の就職支援イベント

学生支援センター・就職支援部では、3年生・修士1年生皆さんのが就職活動を応援するために、学内にて就職支援イベントを開催しています。平成18年度11月に開催したイベント、12～1月の予定は以下のとあります。このほか学部主催のものもありますので、ご活用ください。なお、企画内容が変更になる場合もありますので、会場・時間など必ず各イベントの案内掲示にてご確認ください。

■ 全学の就職支援イベント 11月～1月 ■

平成18年10月23日現在

11月8日 (水)	14:30-16:00 共通28番	留学生のための就職ガイダンス
11月11日 (土)	13:00-19:00 経済第二大講	ジョブスタディ～業界を代表するトップ企業による仕事研究セミナー～ コクヨ・近畿日本ツーリスト・帝人・ソフトバンクテレコム・味の素の 異業種各社の人事担当者が山口に集結。研究会および懇親会
11月15日 (水)	12:00-17:00 工学部体育館	学内合同企業研究会 常盤キャンパスに40社をお招きしての研究会
11月18日 (土)	13:00-19:00 教育11番 14:00-17:00 大学会館会議室	就職活動交流会2006 Autumn 学生実行委員会企画 就職活動を体験した先輩との毎年恒例の交流会 若者・起業家交流会 山口市主催 東京でご活躍中の起業家（山大卒業生）によるセミナー
11月25日 (土)	13:00-17:00 人文大講 13:00-17:00 大学会館ホール	理系大学院生のための キャリアを研究する会 理系大学院出身者が活躍する職場より先輩方をお招きして、実際の仕事や 技術者としてのキャリアを学びます 地元企業研究フォーラムinやまぐち 山口県若者就職支援センター主催 山口県内企業の魅力理解講座。多くの会社が大学に来てくれます
11月29日 (水)	14:30-18:00 大学会館	人事院及び国家機関の説明会 国家機関の人事担当者による仕事と採用試験の説明会
12月2日 (土)	13:00-15:00 (調整中)	商社体感ビジネスゲーム 双日株式会社にご協力いただき商社の仕事理解講座を開催します
12月13日 (水)	15:00-17:00 大学会館ホール	就職講演会 エントリーシート対策 講師：坂本直文氏 劇的内定術の坂本先生をお招きしての講演会です
12月16日 (土)	9:30-17:30	学内業界・企業研究会 (1) 吉田キャンパスに8社（予定）をお招きした教室方式の研究会です
12月23日 (土)	9:30-17:30	学内業界・企業研究会 (2) 吉田キャンパスに8社（予定）をお招きした教室方式の研究会です
1月10日 (水)	14:30-16:30 工学部	就活センスアップ講座 山口県若者就職支援センター主催 女子学生のためのメイク講座。常盤キャンパス開催です
1月13日 (土)	9:30-17:30	学内業界・企業研究会 (3) 吉田キャンパスに12社（予定）をお招きした教室方式の研究会です
1月19日 (金)	10:00-12:00 大学会館	就活センスアップ講座 山口県若者就職支援センター主催 女子学生のためのメイク講座。吉田キャンパス開催です

* 山口大学に企業・官庁等の人事担当者をお招きし、本学においてキャリア教育の一環として開催する毎年恒例の **学内業界・企業研究会** は12月16日（土）スタートで、12月23日（土）・1月13日（土）、および、2月の平日および土曜日に、吉田キャンパス・常盤キャンパスを会場に開催します。

■ 山大の就職支援



インターンシップを終えて

人文学部 人文社会学科 3年 木村 瑞絵

充実した5日間

私は9月26日から5日間、山口大学総務部総務課でインターンシップをさせていただきました。始めの4日間は広報・調査係にお世話になり、最後の1日は総務係の仕事を体験させてもらいました。そもそも私が大学でインターンシップをしようと思ったのは、普段から授業の履修や奨学金、就職の相談など職員の方にお世話になる機会が多く、その仕事に興味があつたからです。5日間のインターンシップを通して、実際に大学の中で働く人達を見たことで、自分の通う大学の見方が変わり、働くことがより現実的に考えられるようになりました。

インターンシップで学んだこと

このインターンシップで携わっ

た仕事は、広報誌のYU Informationや学報の記事の作成作業、大学要覧用の構内写真の撮影、Webページの作成作業などです。たくさんの人々の目に触れる部署の仕事だったので、できるだけ見やすいものを作ろうと自分なりに考えて作業をしました。しかし職員の方に見ていただくと、まだ改善できるところがあったり配慮の足りないところがあったりして、勉強させていただきました。

特に今でも思い出されることは、Webページの記事の文章校正で、私は特に問題ないと思った文章でも、係の方に見ていただくとたくさんの訂正の書き込みが入っていたことです。また、閲覧の際にWindowsだけでなくMacからも見やすいかどうか確認されたり、目の不自由な方が読み上げソフトを使ったとき、分かりやすいかどうかのチェックをされたりしていました。Webページは学生のみを対

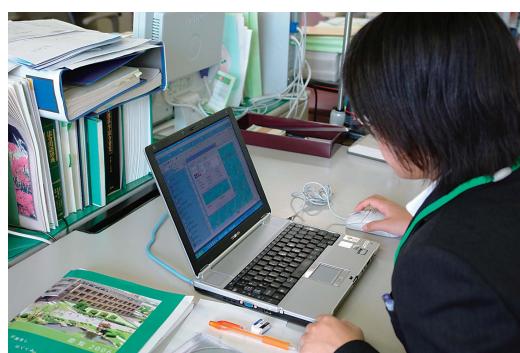
象にしているのではなく、地域の人たちや企業、受験生など多くの人に向けて情報を発信するため、その見せ方にとても気を遣っておられたことが印象に残っています。日頃何気なく目にしている広報誌やWebページには、職員の方達が妥協せず仕事に取り組まれている背景があって作られていることを知ることが出来ました。

インターンシップを通して

インターンシップをした5日間はとても充実していました。身近な大学であっても学生からでは見えてこないことがたくさんあるように思いました。今回このインターンシップで仕事の難しさ・面白さを体験でき、有意義な時間だったと思います。これから社会に出る上で貴重な経験として活かしていくと思います。



大学要覧用に撮影した第二学生食堂（きらら）



広報誌の作製作業

■ 就職活動体験談

人文学部

就職活動に臨む皆様へ



小川 智加

人文学部 言語文化学科 4年

少しでも皆様のお役に立てれば
と思い、大まかな時期に分けて私
の就職活動について書かせて頂き
ました。

10~12月 出来る限り情報を集める！

■手に入れやすい情報

私はリクナビや企業HPで知り得た情報は、書き留めたりコピーしたりしてファイルに保管していました。また、日経ネット<http://www.nikkei.co.jp/>でキーワードを入力すれば過去の関連記事が出てきます。

■一部でしか公表されていない情報

私は結婚・出産後も働きたいと考えています。私と同じように考えている方は、女子採用人数・平均勤続年数・産休取得者数等を調べるために「就職四季報女子版」を購入することをお勧めします。

■生の情報

学生支援センター・就職支援部の先生や実際に就職活動をされた先輩のアドバイスは大変為になりました。

ます。また、早い段階から大学で行われる就職活動イベントに参加し、自身の就職活動に対する意識を高めることをお勧めします。

1月～ スケジュール管理！

私にとって一番スケジュール管理が難しかったのはエントリーシートの締め切りでした。エントリーシートを書き上げてから、友人・先輩・先生に見ていただいて再度書き直す余裕を持てるようスケジュールを設定してください。

2月～ 多くの方に支えられて

YYジョブサロンの方に面接練習をしていただき、先輩方にも何度も相談に乗っていただきました。「このままどこにも受からないかもしねれない」という不安を伝えると、ある先輩に「就職活動は早く終わるのが大事なんじゃない。後悔しないと思えるところに内定をもらうのが大切だよ。」と言われ、それまでの不安がみるみるうちに解けていきました。

3月～ +α、自己流を見つける

大勢の学生が受けている中で、少しでも自分を印象付けるために、①説明会では必ず3回以上質問し、②時間がある場合は名刺を渡しに

行き、③説明会と面接後はその日のうちにお礼状を送りました。

しかし、面接で失敗すると元も子もいません。面接では①大きな声でハキハキと②簡潔に答えることが大切です。私は元々声が小さいほうですので、大きな声を出すため、怒ったときの声の大きさをイメージして面接を受けるようしていました。

最後に

面接等に「こう答えたなら受かる」という答えはありません。しかし、①マニュアル本に書かれているような表現ではなく、自分の言葉で言える人、②その会社で取り組みたい内容をきちんと伝えられる人がどこの会社でも求められています。ご自身の思いを大切にし、夢に向かって頑張ってください。皆様のご健闘をお祈りしています。

【人文学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ 日本郵政公社
- ◆ 全国農業協同組合連合会（JA）
- ◆ 株NOVA
- ◆ 株イズミ
- ◆ 株伊予銀行
- ◆ コーナン商事株

教育学部

教員採用試験に向けて



藤井 希美

教育学部
学校教育教員養成課程 4年

私は、小さい頃から教員になることが夢でした。教員採用試験に合格し、その夢に一歩近づいた今、少しでもこれから教員採用試験を受けるみなさんのお役に立てればと思い、私が行ってきたことを述べようと思います。

自分のペース

まずは、自分のペースをつかむことです。採用試験に向けての時間は、全員に平等に与えられています。振り返ってみると、私はいわゆる“短期集中型”でした。本格的に勉強を始めたのは、4年生になってからだと思います。朝から図書館に通い、閉館まで勉強しました。しかし、ずっと勉強では精神的に辛いものがあるので、勉強を楽しむ方法を見つけたり、時々は友だちと遊んだりしました。人

それぞれ勉強のやり方や時間の使い方には違いがあります。周りの状況に焦らされることもあると思いますが、自分を信じて自分のペースを貫くことが大切だと思います。

友だちの存在

採用試験は決して一人では乗り越えられないと思います。辛いとき、悩んだときには、同じ目標に向かう友だちに相談したり、採用試験の情報を交換したりすることが絶対に必要だと思います。集団討論や面接・小論文などは、週に1回友達同士で集まって練習しました。友達は、仲間であり、ライバルになるわけですが、本当に良い刺激を受けることができ、かけがえのない存在になると思います。

現場を知る

採用試験の中でも、ペーパーテストは自分が勉強するしかないのですが、集団討論や面接・小論文といった試験は、どれだけ教育に対して思いを持っているか、現場を知っているかだと思います。の中には、自分の経験を述べなければ説得力がありません。私は、そのためにボランティアとして小学校に通ったり、新聞を読んだりしました。現役の受験生はここが

弱いと言われるので、本番では、教育実習やボランティアの経験をしつかりアピールし、臨時採用の経験がある他の受験生に負けないようにしました。

勉強をしていると、本当に私は先生になりたいのだろうか、先生に向いているのだろうかと悩むことが多々ありました。その時は、小学校に行って子どもたちと触れ合い、もう一度自分の思いを確認する機会をつくるようにしました。勉強を進めるとたくさんの悩みが出てくると思います。自分なりのリフレッシュをし、自分を信じて、夢を叶えるために頑張って下さい。応援しています。

【教育学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ 山口県教員
- ◆ 福岡県教員
- ◆ 広島県教員
- ◆ 大阪府教員
- ◆ 神奈川県教員
- ◆ E L B E C 教育図書センター(株)
- ◆ 兵庫県教員
- ◆ 茨城県教員
- ◆ 鳥取県教員
- ◆ 山口県庁

経済学部

就活は人との出会いを大切に



齊藤 明洋

経済学部 経営学科 4年

就職活動の始まり

私が就職活動を意識し始めたのは3年生の10月になってからです。まず、最初にしたことはリクナビなどを通じての企業へのエントリーです。この時期は志望業界も特に決めてなかったので職種に関わらずエントリーしました。

次に力を入れたのは自己分析です。自分の長所や短所について友達や先輩方に協力してもらい考えました。

12月まではこのような感じで企業へのエントリーと自己分析に力を入れて過ごしました。

実際に企業を見てみる

年が明けると企業によるセミナーが開かれるようになります。私は企業の方の生の声を聞いてみると大変だと思ったので、2月に福岡市（博多）で行われた就職セ

ミナーや大学内で行われた学内セミナーに積極的に参加しました。ここでは単に企業の方の話を聞くのではなく、事前にいくつか質問することを考えておき、積極的に質問することによって企業への理解を深めるようにしました。

3～4月になると、エントリーシートの締切や履歴書の作成に追われるようになり、また、採用面接も始まるようになります。物事をスムーズに進めるためにも事前にスケジュール管理をしっかりとおくことや、第一志望の企業の面接を受ける前には事前に何社か面接を受けて慣れておくことが大切だと思いました。

内定先企業との出会い

私が内定先の企業と出会ったのは12月頃です。リクナビで見つけてエントリーをすぐにしました。後日その企業が学内のセミナーに参加されたので、セミナーでは配布された資料と話の内容を自分なりに整理し、企業の特色を把握するようにしました。3月の終わり頃に、その企業の方から電話をいただき、一度社員の方と会って話をできる機会をもつことができました。ここで社員の方から様々な話を聞いたことによって自分もこの企業で働きたいという気持ちを強くもてるようになりました。そし

て、4月に入り面接を4度受け、4月の中旬には内定をもらうことができました。

就職活動を振り返って

就職活動を通じて私が一番感じたことは、やはり大学生活を充実させておくことだと思います。私の場合はゼミ活動で討論大会へ参加したことや、サークル活動、アルバイト、休みの期間を利用しての資格取得等様々な体験をしてきたことが就職活動を進める上で大きな自信となりました。また、就職活動を通じて出会った様々な人の出会いを大切にすることも就職活動を成功させる上で重要であると感じました。

【経済学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ 日本郵政公社
- ◆ 株山口銀行
- ◆ 積水ハウス株
- ◆ 中国労働金庫
- ◆ コカ・コーラウエストジャパン株
- ◆ 国立大学法人山口大学
- ◆ 大和工商リース株
- ◆ 株中国銀行
- ◆ 株広島銀行
- ◆ 広島信用金庫

理学部

公務員試験対策



小関 祐太
理学部 数理科学科 4年

はじめに

私は大学入学時から志望していた公務員になるため、3年次から公務員採用試験の勉強を始めました。公務員と一口に言っても、その職種は多種多様です。それらをひとつひとつ調べていく中で、自分が最も魅力的だと思う職種に出会いました。それは国立大学法人の職員です。そしてこの度、国立大学法人熊本大学から内定をいただくことができました。

ご存知の方もおられると思いますが、国立大学の職員は法人化に伴い、非公務員となりました。公務員になりたいという最初の希望とは外れてしましましたが、公務員という枠に囚われず、働いてみたいという気持ちを大切にしたことが、今につながったと思います。

採用試験の形式は公務員採用試

験と同様なので、公務員を志望する方に参考になる部分があると思いますので、これから述べていきたいと思います。

試験勉強

勉強を始めるきっかけは、生協が主催する公務員試験対策講座でした。公務員採用試験の多くは教養科目と専門科目で構成され、出題範囲が広く、内容も深いという特徴があります。講座はそれを熟慮し、出題科目の解き方だけでなく、勉強するコツも同時に教えてくれます。何をどの程度勉強すればよいのか分からなかった私にとって、講座は勉強のペースメーカーとなりました。

講座を受けるにしても受けないにしても何より大切なのは、自習の時間を充実させることです。それには集中できる場所を確保し、時間を区切って行うことです。

私の場合、公務員志望の友人と一緒に大学で自習し、家ではリラックスすることを心がけました。そうしたことでも自然にメリハリがつき、より勉強に集中しやすくなりました。また友人と一緒だと、分からない問題があるとすぐに聞き合えるため、勉強の行き詰まりを防ぐよい方法であると思います。

最後に

みなさんも就職活動を行う中で希望とする職種が変化するかもしれません、それは自分が動いたことによって選択肢が増えたということです。だから迷うこと増えてしまうが、自分が働きたいと思う気持ちを大切にしてください。それが自分にあったよりよい職種をみつけられることにつながると思います。

【理学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ 公務員
 - ◆ 教員
 - ◆ 富士通㈱
 - ◆ 株日立情報システムズ
 - ◆ 株宇部情報システム
 - ◆ 株山口銀行
 - ◆ 全国農業協同組合連合会(ＪＡ)
 - ◆ ゼリア新薬工業㈱
 - ◆ 日本放送協会(ＮＨＫ)
 - ◆ 日本テレコム㈱
- [現、ソフトバンクテレコム㈱]

医学部

良い研修を受けたい！～医学生の就職活動～



清水 弘毅

医学部 医学科 6年

はじめに

医師臨床研修制度が必修化され、3年目に入りました。この制度は従来のように卒業後すぐに専門を決めるのではありません。卒後2年間を研修期間として設けてあり、内科・外科・救急医療などの決められた診療科を数ヶ月単位で研修する制度です。現在、全国の多くの病院で独自のカリキュラムを作り、私たちに研修の場を与えてくれています。それでは、医学生の就職活動について簡単に紹介します。

病院選び

どの病院を選ぶかというのは研修病院に指定されている病院であれば、すべて私たちに任せています。たとえば、大学病院のよう

に専門性の高い病院や市中病院のように幅広く疾患を見る病院、またとにかく症例数が多い病院など、各病院で特色はさまざまです。その中でどのように病院を選ぶのかというと、多くは先輩や友達が推薦してくれる病院にまず見学に行ってみて実習を行い、自分の理想と合致した病院の試験を受けます。私も5つの病院を見学に行き実習をさせていただきました。各病院とも実習のスタイルは特色があり、試験も筆記試験から面接試験までまちまちでした。

研修を受けたい病院に合格するにはどうすればいいか。それは、やはり実習に行ったときにどれだけ自分がその病院で研修したいかをアピールすることです。病院側

も良いスタッフが欲しいですし、一緒に働くようになるのですから、やはりやる気のある人材が欲しいに決まります。やる気を見せることこそが、成功への近道です。

終わりに

2年間の研修は自分がどんな医師になるかを決めるのに十分な期間です。自分の希望にあった場所で研修するためには、確実な情報をいかに多く集めるかが重要です。そのためには、自分の在学中に知り合った先輩・先生から、その病院の良いところ、悪いところを教えてもらうべきです。良い環境で、良い先輩・先生と良い研修をしたいものです。

【医学部医学科】

- 2006年3月卒業生の主な研修先
- ◆ 山口大学医学部附属病院
 - ◆ 独立行政法人 国立病院機構
関門医療センター
 - ◆ 山口県立総合医療センター
 - ◆ 九州大学病院
 - ◆ 慶應義塾大学病院

【医学部保健学科】

- 2006年3月卒業生の主な就職先
- ◆ 山口大学医学部附属病院
 - ◆ 独立行政法人 国立病院機構
関門医療センター
 - ◆ 広島大学病院
 - ◆ 福岡大学病院

工学部

就職活動を振り返って



清水 佑介

工学部
知能情報システム工学科 4年

今、思うこと

就職活動を振り返って、今一番思うことはもう少し早く採用試験を受け始めるべきだったことです。なぜなら一つの会社訪問によって、いくつかの発見があって、会社選びにしても、面接対策にても余裕をもってできるからです。現在はインターネットや就職関連本などから、たくさんの情報を得ることができます、実際に会社訪問したときにその会社について初めて気づくこともありますし、なにより会社訪問を経験することでそれ以降の就職活動に対する不安が多少なりとも解消されます。そのためにはどの会社に訪問するのか早めに計画を立てることをお勧めします。一つの会社に訪問するには、書類を申し込んだり、会社までの移動に時間がかかったりするからです。

就職活動本番

最初の会社の面接試験は失敗に終わりました。そのときの感想としては、最初の面接だったので緊張して簡単な質問にもうまく返事ができなかったり、ただ質問に答えるだけで積極性を出せなかつたりしたように感じます。今までの面接対策も実際に会社の方を目の前にすると、十分に發揮できませんでした。

しかし、この試験の失敗により、次からの就職活動は少しずつ緊張もほぐれていったし、面接での失敗も少なくなり、余裕をもって就職活動に取り組んでいたことを覚えています。

最後にアドバイス

これから就職活動を迎える皆さんにアドバイスですが、自分のやりたいことが決まり、理想の会社を見つけた人はその会社の採用試験の前にいくつか別の会社の面接試験を受けることをお勧めします。なぜなら、採用試験をいくつか受けることで面接の傾向が分かつたり、さらには自信もできます。それによって、一番大事な会社の採用試験のときに緊張せず、普段どおりの自分で臨むことができるからです。

また、現在は就職先がまったくないという時代ではないので自分のやりたいことが決まっても、会社選びが大変になる人がいるかも

しません。そんなときはまず希望の仕事ができそうな会社の情報を集めて比較し、良いところを探すのがいいでしょう。例えば、将来活躍できそうである、成長できそうである、勤務地がいい、福利厚生が充実しているなど他にもいろいろあると思いますが、大事なことは少しでも多くの良いところを見つけて自分で会社を選ぶことです。それが納得のいく就職活動にもつながっていくと思います。それでもなかなか良いところが見つからないときは、友人・家族・先生方・先輩などと相談して、もう一度自分で考えることをお勧めします。

なかなか自分のやりたいことが見つからない人も、今自分が勉強していることに関係ある会社だけでなく、今の勉強にまったく関係していない会社、ただおもしろそうな会社などとにかくいろんな会社を受けてみるのがいいかもしれません。もしかしたら、いろんな会社を受けていくうちに自分の方針性が見えてくるかもしれません。大事な就職活動ですけど、焦らず、楽しむくらいの気持ちで頑張ってください。

【工学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ スズキ株
- ◆ 本田技研工業株
- ◆ 西日本旅客鉄道株
- ◆ 船井電機株

農学部 自分自身を見つめなおす機会



山口 友恵
農学部 獣医学科 6年

就職活動start

私は獣医学科の学生ですが、自分が卒論で研究していることにおもしろみを感じ、研究を仕事にしたいと思っていたことや、親が企業で働いていること、所属している研究室から比較的多くの先輩が製薬会社などの企業へ就職していることもあり、企業への就職を考えていました。本格的に腰を上げたのは5年生の9月。周りには就職活動をしている人はまだ誰もおらず、エントリーシートの提出や、SPIテストの勉強、面接の練習、すべて自分の責任において自分が動かなければ、誰も注意はしてくれません。「もうこれぐらいいいかな」と思う自分に、「あんたはまだできるでしょ」と、必死に奮い立たせて行動していました。

エントリーシートや面接へのchallenge

エントリーシートや面接によくある質問：「自分の自己PRをしてください」、「今までで、最も印象深かったことを教えてください」。

就職活動をする前、このような質問に答えたことのある人が何人いるでしょうか。自己PR。自分の長所や短所を改めて聞かれると、困ってしまいます。まず、自分の人生を振り返り書き出してみました、記憶のある限り。幼稚園、小学校、中学校、高校、大学…。記憶に残っていることは大抵印象深いものなのです。書きだしてみると、この二十数年の自分の人生いろいろあったことが改めて文字として認識できました。

面接での身だしなみ。

自分の着ている服装・髪型・お化粧は、自分の好きなものを重視してきた私ですが、就職活動グッズを購入する際、周りの人からどのように写るかに重点を置き、且つ、いかにも就職活動中ですといったような型にはまった格好ではなく、個性を失わないよう注意しました。すると、今まで、自分していた格好が回りにはどのように受け止められているのか、なんとなくですが分かるようになってきました。

ました。就職後、初対面の方と出会う機会が多くなると思いますので、この経験はこれから生きていいくと思います。

これから就職活動する後輩たちへ

私は製薬会社への就職活動をし、一番入りたかった企業へ内定をもらうことができました。就職活動をしている最中は、大変かと思いますが、今していることは振り返ると必ず自分の糧になっていると思います。自分を見つめなおす機会など、これから的人生そんなにたくさんないはずです。しっかり自分を見つめなおし、自分にあつた就職先が見つかるように頑張ってください。

【農学部】

2006年3月卒業生の主な就職先

- ◆ 一番食品㈱
- ◆ 株シマヤ
- ◆ 全国農業協同組合連合会
福岡県本部(ＪＡ全農ふくれん)
- ◆ 山口県庁
- ◆ 農林水産省
- ◆ 鹿児島県庁
- ◆ 大阪府警察
- ◆ 長崎県警察
- ◆ 中外製薬㈱
- ◆ 三共ライフテック㈱

■ 保護者から見た学生の就職活動



就職活動今昔……親ができること

経済学部教育後援会 会長 浅本 道生

高度経済成長時代後のオイルショックによる就職難時代に就職活動を経験した身からすれば、その後のバブル時代の超売手市場とバブル崩壊後の氷河期を経て、最近はようやく明るさも見えている一方、ニート・フリーターの増大や、当然のことと思われていた終身雇用も崩壊し、大卒の3人に1人は3年以内に離職と聞くと、就職活動をめぐる情勢の変化には感慨深いものがあります。

昔は…

思い起こせば30年前、確か就職活動解禁は協定により10月から、青田買いといわれてもせいぜい6月くらいからではなかったでしょうか。

パソコン、携帯はもちろん新幹線のぞみもない時代で、大都市圏の学生はともかく地方の大学しかも文系学生は、大学に張り出される求人票や下宿に送られてくる会社案内を見て電話・郵便でコンタクトを取り、会社訪問をして入社試験を受けるという、今から考えれば随分のんびりしたものでした。

今的学生は恵まれているのか

ところが、今では3年次の後期から活動を始め、インターネットでリクナビ等に登録しエントリーシートの提出、説明会で東奔西走し4年になるとすぐ内定が出る。企業からの連絡は携帯へ、当然パソコン・携帯は必需品で費用も十万単位でかかります。

自己PRや面接のコツ等の情報も溢れ、IT万能時代、より多くの情報を入手した者が当然有利のようです。

大学も、学生に対する一貫した就職支援はもとより、保護者懇談会において最新情報をアドバイス

いただき、親とすれば大いに感謝しております。

そういう支援体制に関して今の学生は恵まれていると感じます。

親にできること

就職活動に際し、親が昔の知識や自分の経験でアドバイスしても、話がかみ合わないことが多いです。親にできることは、なんといっても就職活動資金の準備と環境整備でしょう。子供のことは、親が一番よく分かっているからと口を出すにしても、現在の就職事情をしっかりと把握した上で。

やはり最後は本人の努力次第でしょうか。



■ 就職活動時の身だしなみ

就活ファッション～これから始める学生へ～

これから就職活動を始める学生に向けて、基本的な身だしなみを紹介します。今回のYU Informationで就職活動体験談を執筆していただいた学生にアンケートを行いました。

髪型

[基本] 清潔感のあるすっきりとした髪型、襟足と耳にかかる髪の毛を短くカット。
[先輩は] 短く、爽やかに整えました。

スーツ

[基本] 濃紺が基本であるが、グレーも増えてきている。上着の一番下のボタンは留めないように。
[先輩は] 黒、紺、グレーを選びました。

シャツ

[基本] 白色のシャツは必ず用意。形状記憶素材のものは便利。
[先輩は] 白色、薄い灰色を選びました。

ネクタイ

[基本] 色はエンジ・黄・紺、柄はストライプや小紋柄が基本。スーツの色が入っているものを選ぶとシックな印象に。
[先輩は] 黄、青、黒のストライプ、薄い灰色のチェックを選びました。

靴下

[基本] 濃紺、黒、グレーが基本。白やくるぶしソックスは履かないように。
[先輩は] 濃紺、黒を選びました。

靴

[基本] 黒が基本。履き心地がよく、フィットするものを。
[先輩は] 黒の紐靴を選びました。

鞄

[基本] ベルトや靴の色と合わせるのがよい。黒で統一するのが基本です。カジュアルなもののは避け、床に置いたときに倒れないものを。
[先輩は] 黒のリクルート鞄を選びました。

髪型

[基本] 長い髪は後ろでとめ、すっきりとした髪型に。お辞儀をしたとき、髪をかき上げる仕草はしない方がよく、耳を出した方が清潔感がアップ。
[先輩は] 長い髪を後ろで束ねました。

スーツ

[基本] 黒が基本で、体にフィットするものを。スカートが主流で、丈は座ったとき膝下10cmくらいの長さになるよう。
[先輩は] 黒のスカート、黒のパンツを選びました。

シャツ

[基本] 白色のシャツは必ず用意。パステル系も可。襟元のレギュラータイプはどの場面でも使え、スキッパータイプはどんなジャケットにも合う。
[先輩は] 白色、薄いピンクを選びました。

ストッキング

[基本] 必ずベージュを用意。伝線が入ったときのために予備を準備。
[先輩は] ベージュを選びました。

靴

[基本] 黒のパンプスが基本。スクエアタイプもカジュアルすぎなければ問題なし。ヒールの高さは3～5程度がよい。
[先輩は] 黒のパンプスを選びました。



先輩達に聞きました

気をつけたこと

- 鏡を携帯し、いつでも身だしなみをチェックできるようにしました。
- スーツとシャツのアイロンがけを欠かさないようにしました。
- 化粧が濃くならないように、ナチュラルメイクを心がけました。

服装に費やした金額

平均 52,000円（最高10万円、最安1万円）

「山口大学医学教育総合電子システム(eYUME)」 「特色GP」に採択(山口大学3年連続)

■ 川崎 勝 助教授 大学院医学系研究科 システム統御医学系専攻
医学教育センター 副センター長



「特色GP」とは

山口大学医学部の「総合電子システムを活用した医学教育の改善」が平成18年度の「特色ある大学教育支援プログラム」(通称「特色GP」)。「GP」は「Good Practice」の略)に採択されました。「特色GP」は、近年の文部科学省の高等教育政策の中で最も重視されている「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」(詳細は、http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/index.htmを参照)を構成する様々な教育支援プログラムの中でも最も古く(平成15年度から)、最も厳格な選定が行われるプログラムです。

今年度から申請方法が少し変わり、「修士」・「学士」・「短期大学士」といった課程ごとの申請となりましたが、原則として「一大学一申請」であるため、全国数百の国公私立大学から工夫を凝らし、既に実績を挙げた取組が集まることになります。そうして集まってきた申請の中で毎年約一割が「特色ある大学教育における取組」として選定されます(今年度の学士課程では計31取組)。

採択まで

やや裏話になりますが、今年度の山口大学の申請

取組を選ぶための学内選考が今年2月に行われ、その席で教育国際担当の丸本副学長(当時・現学長)の裁定により「山口大学医学教育総合電子システム(eYUME:electronic system of Yamaguchi University Medical Education)」が選ばれたときにはプレッシャーを感じました。というのも、山口大学は平成16年度に「TOIEC」、平成17年度に「おもしろプロジェクト」と、既に2年連続で「特色GP」に選定されており(ちなみに、ひとつの大学が2年連続で選定されるのはかなり稀なことで、今回3年連続となりましたが、これは全国の国立大学法人の中では山口大学が唯一です。)、また、山口大学として学部単位の取組で申請するのも今回が初めてのことだったからです。

7月に最終選考のために東京でのヒアリングに呼ばれた際には、随分と厳しく突っ込まれたので(これは、他の採択された大学も同様だったようですが、それが分かったのは結果が出た後のことでした)、8月上旬に「採択」の連絡があったときには心底安堵しました。

eYUMEとは

あいにく、今回与えられた紙幅では、肝心のeYUMEそのものについて詳細に説明することは不可能ですが、是非<http://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/>にアクセスしてみてください。そこには、医学科のすべての講義が1コマ1コマ画像を大量に含んで電子化されている姿があります。それ以外にも様々な機能を兼ね備えており、上記サイトの「はじめに」に概要を記してあります。また、実は、eYUMEについては、既に4年前にこのYUのNo.61でご報告しております(当時は、まだ単に「電子シラバス」と

TOPICS

呼んでいましたが)。幸い、YUのバックナンバーはWebページ上で読むことができますので、<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/yu/yu61/yu61.html>にアクセスしてお目通しいただければ幸いです。

今後に向けて

最後に、今回採択されたeYUMEは、歴代の医学部長をはじめとした医学部全教職員による医学教育改善のための熱心な取組の成果であることは言うまでもありませんが、同時に、学長裁量経費で本プロジェクトの立ち上げを可能にしていただいた廣中元学長をはじめとして、加藤前学長、丸本現学長と歴代の学長の先生方の温かいご支援とご理解のもとに発展してきたものです。この点でeYUMEはまぎれもなく山口大学全体を代表する教育改革の取組のひとつであり、今後も学内全体のご協力を得てますます発展させていきたいと思います。

The screenshot shows the homepage of the Yamaguchi University Medical Education System (eYUME). The header features the university's logo and the text "eYUME 2006". Below the header, there is a banner for the "2006 (平成18) 年度「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」選定". The main menu includes links for "はじめに" (Read Me First), "カリキュラム" (Curriculum), "検索" (Search), "資料" (Material), "C B T" (Computer Based Testing), "掲示板" (BBS), and "教育評価" (Educational Evaluation). A note at the bottom states that all content on the site is copyrighted by the Yamaguchi University Faculty of Medicine.

eYUMEのトップページ



eYUMEを用いた講義

学内連絡先

E-mail : kawasaki@yamaguchi-u.ac.jp

「教室と経営体の融合による技術経営教育」 -専門職大学院教育推進プログラムの採択に当たって-

■ 上西 研 研究科長・教授 大学院技術経営研究科



はじめに

文部科学省の「平成18年度専門職大学院教育推進プログラム」に本学から申請していた「教室と経営体の融合による技術経営教育」(単独申請)と「MOT協議会における教育推進プログラム」(共同申請)の二つが年間の事業として採択されました。本プログラムは我が国における高度専門職業人養成の中心的役割が期待される専門職大学院において、理論と実務を架橋した専門職の養成に相応しい教育の水準の向上を図るために、全国の専門職大学院（法科大学院を除く）66校の中から先導的な取組を重点的に支援するものです。本年度は単独・共同を合わせて全国で14プロジェクトが採択されましたが、そのうち本学から2プロジェクトが選ばれたことは本学の専門職大学院（大学院技術経営研究科）の地域と密着した取組を高く評価していただいた結果だと思っています。ここでは、単独申請の「教室と経営体の融合による技術経営教育」についてのみプロジェクトの概要を紹介させていただきます。

プロジェクトの全体像

技術経営（MOT）教育では知識やスキルの伝授だけでなく、受講者の実践力向上を図ることが必要

です。このためには、経営現場と学びの場を融合させた教育を行い、受講者に現実の課題に臨場感を持って対峙させることが有効です。本プロジェクトは、ものづくりの基盤であり、地域企業から教育ニーズの高い、デジタル・エンジニアリング（DE：製品の設計から製造にいたる全工程を三次元データで一貫処理する高度な情報化製造技術）を具体的な事例として取り上げ、大学教室と経営体（経営・製造・研究現場）とを融合した実体験環境において技術経営教育を行うものです。

教育の中心になるのは平成17年度に開発した衛星・携帯電話・インターネット中継による複数経路（マルチチャネル）双方向教育支援システムによって構築する教育環境での、デジタル・エンジニアリングを核とする技術経営演習です。この演習の前段階としては、デジタル・エンジニアリングおよび技術経営の知識を伝授する講義中心の知識伝授型教育が行われます。演習実施段階では、教員・受講者・企業の三者が参加して議論を進めながら実際の製品開発を行うとともに、その製品開発プロセスのケース化、すなわちビデオおよび紙媒体によるドキュメント化を行います。演習終了後には、演習実施時に作成されたケースを使用したケース教育を行い、演習内容に対する理解の深化を図ります。以上のことまとめた本プロジェクトの全体像を図1に示します。

プロジェクトの特色

技術経営専門職大学院においては、講義による知識伝授型の教育と、演習およびケース教材等を用いた思考力や問題解決能力を養成する実践型教育の双方が重要ですが、通常、それらは互いに独立した形で実施されており、かならずしも受講者の頭の中で有機的に結びついていません。このような現状に対

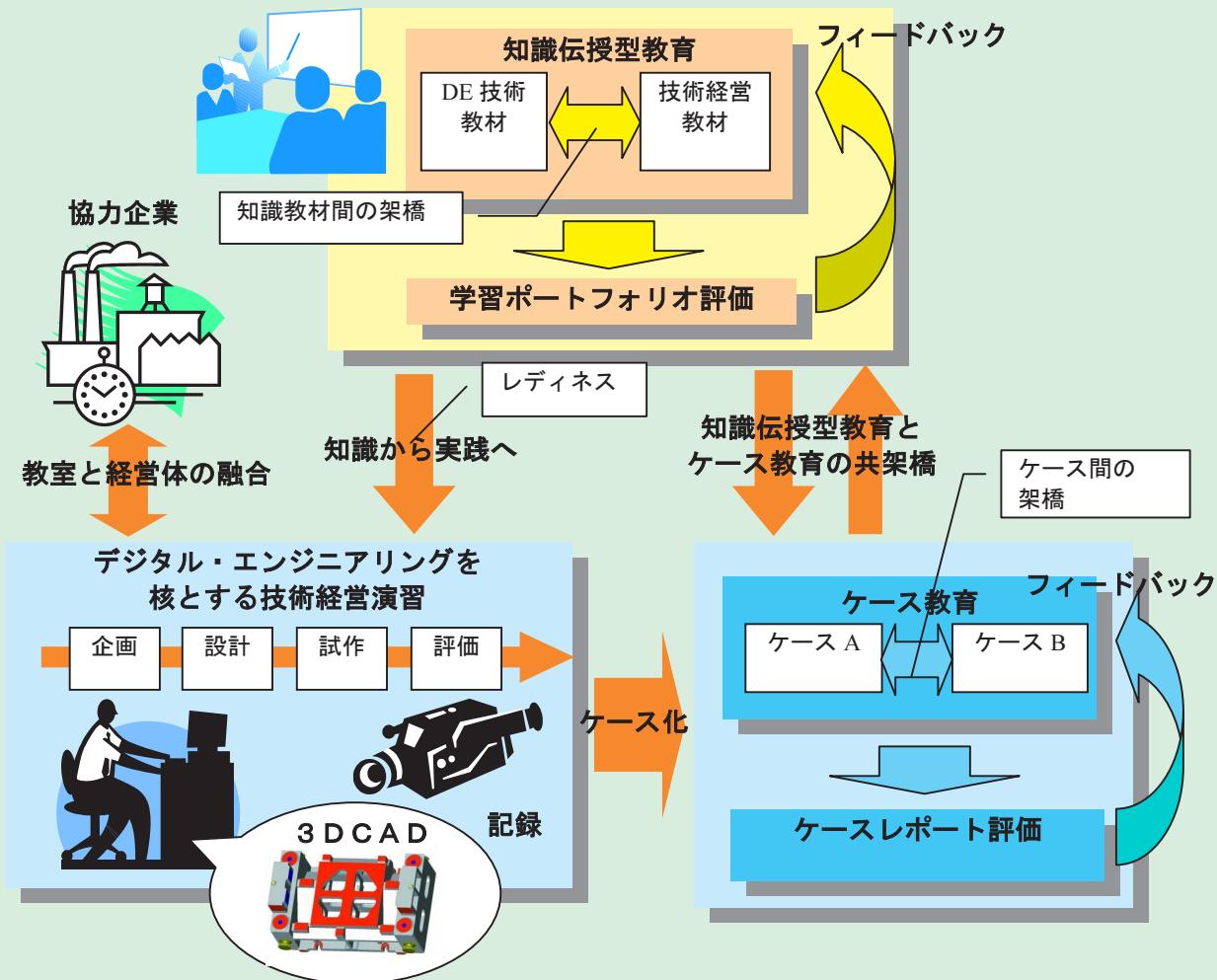


図1 演習を中心とする知識伝授・実践力養成一体化教育システム

し、製造現場へのデジタル・エンジニアリングの導入とそれを活用した新しい経営システムの構築ということを一貫したテーマとして取り上げ、このテーマの下で知識伝授型教育と実践型教育の双方を有機的に結びつけた教育システムを開発するというところに、本教育プロジェクトの第一の特色があります。また、第二の特色として、デジタル・エンジニアリングを核とする技術経営演習を実施する際、双方向マルチチャネル教育支援システムを活用して大学教室と経営体とを結びつけ、受講者と教員のほか本演習に協力する企業人を交えた実体験教育環境を構築し、受講者が現実の課題に臨場感をもって対峙できるようにしている点が挙げられます。

さらに、第三の特色としては、上述の演習と並行して、製品開発プロセスのケース化を行うことが挙

げられます。通常のケース教育に使用されるケースでは既に終了した経営改革や製品開発の事例を取り上げることが一般的ですが、本プロジェクトのケースでは受講者が自身の課題として真摯に取り組み、進行させつつある製品開発プロセスが取り上げられるという点に特長があります。受講者自らが行った製品開発プロセスにおける数々の意思決定を多面的に検討することにより、受講者がデジタル・エンジニアリング技術を導入した製品開発プロセスについての理解を深化させることができます。

プロジェクトの評価

知識伝授型教育、デジタル・エンジニアリングを核とする技術経営演習、ケース教育の各終了時に受

TOPICS

講生の理解度評価、受講者による講義内容に対する評価等を行い、その結果にもとづいて本教育プロジェクトで開発する教育システムの評価改善を行います。評価手法の全体像を図2に模式的に示します。

知識伝授型教育およびケース教育では、各受講者に対して学習ポートフォリオ評価およびケースレポート評価を行うので、各教育の終了時にはこれらの評価結果から各受講者の知識・スキル・思考力の達成水準、すなわち理解度が明らかになります。各教育の終了時にはさらに受講者による講義内容・教材・教育手法に対する評価を行います。

デジタル・エンジニアリングを核とする技術経営演習では、演習に参加して助言や指導を行う企業人が教員とともに、受講生の指導を行いながら受講生のスキル・思考力達成水準をチェックします。演習終了時には受講者による講義内容・教材・教育手法

に対する評価のほか、企業人による受講者の製品（成果物）の評価および演習内容の評価を行います。以上の本教育システム各段階における評価結果に基づき、各年度の半期ごとに技術経営研究科専任教員による内部評価委員会を開き、教育システム（教材・教育手法）の改善を検討します。また、内部評価委員会のほかに、各年度末に、演習に協力した企業や中国地域MOTコンソーシアム参加企業等によって構成される外部評価委員会を設置し、企業側から見た専門職大学院における望ましい知識獲得水準や方法、演習の進め方、またケース教材に関する意思決定のポイントや効果的な教育方法について検討し、教育システムの有効性を高めることにしています。内部評価委員会は外部評価委員会の評価を踏まえて改善案を作成し、次年度の教育および演習に反映させます。

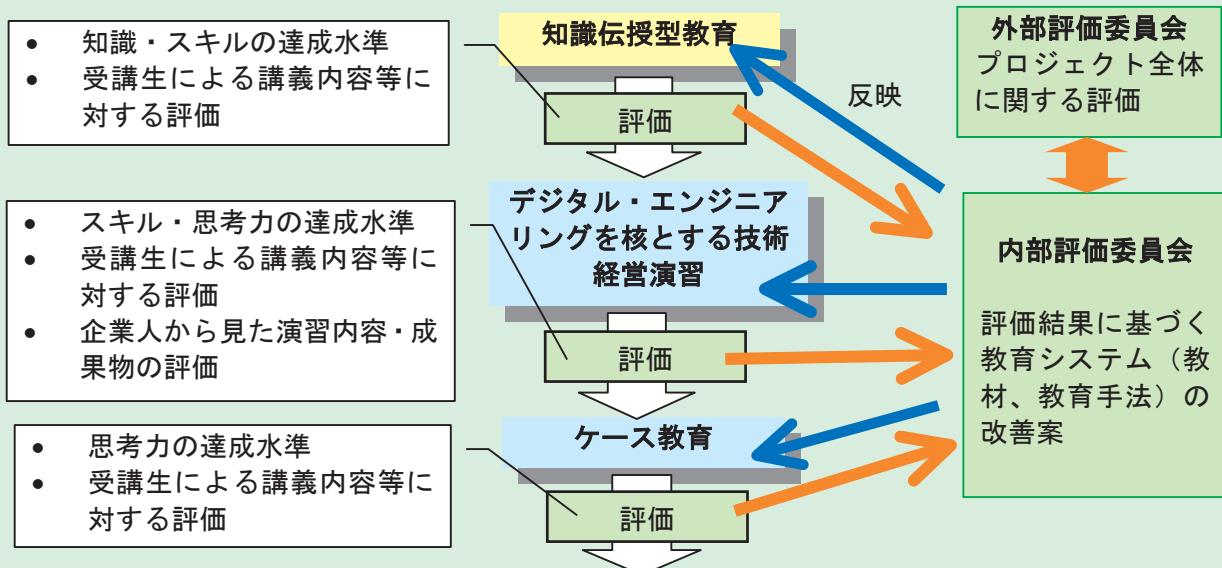


図2 評価手法および体制

おわりに

本プロジェクトの経過は定期的に山口大学大学院技術経営研究科のWebページ上で公開します。また、デジタル・エンジニアリング演習実施時にはケース作成のために映像記録を撮りますので、Webページ上では、説明文とともに静止画像または動画像によっ

て、演習の内容を公開する予定です。皆様のご意見等を頂ければ幸いです。

学内連絡先 TEL : 0836-85-9060 FAX : 0836-85-9877 E-mail : kaminisi@yamaguchi-u.ac.jp
--

山口大学を第二の母校に –シニアサマーカレッジ終了–

8月28日（月）から9月10日（日）の2週間にわたって開校された「山口大学シニアサマーカレッジ」は、北は青森から西は福岡までの13都府県32名の参加で好評のうち終了しました。このカレッジはJTBと山口大学の共催（山口県、山口市後援）で、退職後再度学びたいとの意欲に溢れた団塊の世代の方を対象にした、初めての産学公連携の交流型教育事業として開催されたものです。学外講師11名、学内講師12名により合計23の講義が行われました。講義内容は山口という地域性を意識した明治維新を題材にした歴史、萩焼、文学（中原中也）などから、山口大学の各学部での特徴的な研究から選ばれたテーマで構成され、バライティに富んだものでした。

期間中には受講者間の、あるいは受講者と大学関係者の交流を深めるため、2度パーティが催され、また自己紹介カードの作成などが好評でした。参加者は学生時代に戻り、コンパも自分たちで計画され、そこには学長、経済学部長なども参加されて、驚かれるながらも大いに感激されました。

参加者の関心は山口の歴史・環境問題・高齢化社会・日本語・地元企業の問題など多岐にわたっており、講義は十分それらの期待に応えるものでした。「親切で丁寧でだった」、「前向きで、身近に感じた」、「意気込み、情熱が伝わった」などが山口大学に対する共通の印象で、中には「山口に永住したい」、「来年も山口大学に受講に来たい」などの感想も寄せられました。

今年が1回目で準備には戸惑ったところも多々ありましたが、大学の地域貢献・社会貢献活動の新しい形として、今後の継続発展の努力が望されます。

（河野 真治 教授 経済学部）



入学式で挨拶をする丸本学長



熱心に講義を聴くシニアの方々

平成18年度 オープンキャンパス –オープンキャンパスが少し変わった–

8月7日(月)～9日(水)の3日間、猛烈な暑さの中、オープンキャンパスを開催しました。今年は、山口地区において従来の学部企画に加え、新たに全学企画を計画し実施しました。特色ある教育活動として「おもしろプロジェクト」及び「TOEICを活用した英語カリキュラム」の紹介、また約50人の学生スタッフによる、「課外活動紹介・学生生活紹介コーナー」、「学生相談コーナー」、「キャンパスツアー」など学生が自ら企画立案し学生の視点から高校生を迎える形をとりました。そろいのTシャツ姿で笑顔で高校生を会場へ案内する学生スタッフの姿が印象的でした。メイン会場となった大学会館付近は昼食時間とも重なり一時あふれるほどの人でごった返すこともありましたが、全学企画及びそれぞれの学部企画による学部・学科説明、研究室・施設見学など学生スタッフ・教職員一体となり、昨年を約300人上回る3,000人あまりのお客さまに対し情報提供などを行いました。

少子化が進む中、山口大学への志願者数が気になりつつ、オープンキャンパスの位置づけも重要なものになっていくと思われます。

（五嶋 幸生 学務部入試課 課長補佐）



大学会館の企画案内板



「TOEICを活用した英語カリキュラム」紹介風景

TOPICS

農学部学生による広報誌「NOAH」の創刊

農学部では保護者向けの広報誌を学生のパワーを活用して作製しました。この広報誌は学生が農学部へ入学してから、日々どの様な生活や研究で過ごしているのかなど、ご父兄の方々に本学部の情報提供にと考え、作製に当たっては、広報スタッフを学生から募集し、4名の「学生スタッフ室」を設け、印刷ができるまでの企画・取材・編集・構成にいたる全てを学生の手作りに委ね、広報誌『ノア』(創刊号)と称して7月に発行しました。

今後、年数回の発行を考えており、次回『ノア』第2号の発行は、来年5月末を目指して広報スタッフが準備を進めています。

(新徳 法正 農学部 事務長補佐)



学生広報スタッフによる広報誌『ノア』創刊号

歩く広告～ビニール手提げ袋の作製～

農学部では8月8日（火）に行われた高校生対象の公開説明会に配付する資料を入れ、農学部のアピールができるビニール手提げ袋を作製しました。作製に当たっては、高校生にインパクトがあり、常日頃でも使用でき、農学部の歩く（動く）広告となる袋のデザインを学生から公募し、学生の立場から見た作品を投票により選出しました。

今後も学生の知恵・力を借りて、高等学校や高校生等に農学部のPRができるものを考え、次回の作業として受験生向けポスターの作製、Webページの内容を充実、特に在学生から受験生へのメッセージコーナーや質問欄などの検討に入っています。

(新徳 法正 農学部 事務長補佐)



公募作品の表彰式（学部長室にて）
左から福島（3年）、古賀学部長、古賀（3年）

部活・サークルの成績紹介（平成18年7～10月）

◇水泳部

第37回中国四国学生選手権水泳競技大会

兼第36回中国四国国公立水泳競技大会

インカレ2位・国公立1位 女子200m平泳ぎ 森尚美
インカレ・国公立2位 男子50m自由形 谷川晋
インカレ・国公立2位 男子200m背泳ぎ 栗山進太郎
インカレ・国公立優勝 男子1500m自由形 建林基文
インカレ・国公立2位 男子400mメドレーリレー
土本隆雅・荒川圭司・栗山進太郎・谷川晋
インカレ・国公立2位 男子800mフリーリレー
建林基文・栗山進太郎・谷川晋・土本隆雅
インカレ・国公立2位 男子総合

◇卓球部

平成18年度山口県オープン団体卓球リーグ（前期）

1位 山口剛史・久野智司・永田光曜・米沢健太

◇混声合唱団

第61回合唱コンクール山口県大会 銀賞

第45回中国合唱コンクール 大学部門Bグループ 金賞

◇吹奏楽部

第47回全日本吹奏楽コンクール中国大会 金賞

第54回全日本吹奏楽コンクール 銀賞

◇ボート部

関西選手権大会

優勝 女子シングル 高塚絃子

準優勝 男子エイト 宮本健作・小田創平・大串泰斗・中川貴裕・
大西正志・山下剛史・宇治橋康太・竹坂祥・竹村隆弘

◇ソーラーカー同好会

FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP DREAM CUP

ソーラーカーレース鈴鹿2006

ENJOYクラス12位、ミツバ賞3位

平間征一・米田啓洋・吉田基之・大江重喜

◇器械体操部

第39回中国四国学生体操競技大会

優勝 男子団体総合

2位 女子団体総合

男子個人総合1位 川口泰徳

2位 木宮琢水

男子床 1位 川口泰徳

2位 木宮琢水

男子鞍馬 1位 川口泰徳

2位 木宮琢水

男子跳馬 1位 木宮琢水

2位 川口泰徳

男子つり輪 1位 川口泰徳

2位 木宮琢水

男子平行棒 1位 川口泰徳

2位 松中良樹

男子鉄棒 1位 木宮琢水

2位 川口泰徳

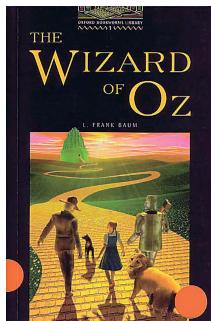


丸本学長（前列右）に成績報告をするボート部のメンバーと前川教授（前列左）

私の授業

英語多読

田中 経彦 助教授
大学院医学系研究科 保健学専攻



The Wizard of Oz
(Oxford Bookworms Libraryシリーズ)
©; Oxford University Press 2000
Illustrated by Gillian McLean).
このような本を多読します。

医学部保健学科では、国際医療に対応できる医療人育成という到達目標を掲げ、英語国出身看護教員と協力して、教員一同銳意努力しています。英語は結局自学自習です。そこで、学科で推薦している英語自習法、「英語多読」について紹介します。大学教育センターの教育COE「TOEICを活用した教育カリキュラム」の一環で、3年程、大学教育センター外国語センターパイロット講義（全学対象単位無し）として続けて来ましたが、今年から保健学科生には選択専門科目としています。

TOEICは訳読を排す鬼手仏心

いろいろ調べてみると、山口大生が全員受験するTOEICは、中学英語の語彙が9割で、高校1年までの文法での運用能力を測ります。朗読速度がTOEICと重なるセンター試験リスニングテストが18年度導入された効果か、当学科でも、入学2ヶ月後のTOEIC600点以上取得者が15%と倍増しました。しかし英文を訳読する癖が抜けていないならTOEICのリーディング点数が伸びず足を引っ張ります。TOEIC600点では、訳読せず、毎分100語の速さで直読直解できます。訳読は精々毎分75語です。誰でも必ず止められ、止めれば聴き取りも良くなります。読める速さが英語処理速度で、それ以上早い英語は聴き取れないからです。TOEICは、訳読癖をやめて毎分100語レベル（600点）、普通の会話（センター入試の速度）が聞き取れるようになるために毎分150語レベル（730点）、早口が分かる毎分200語レベル（860点）を目指そうと呼びかけているのです。

多読は直読直解の訓練となります

多読は訳読を忘れさせて読速を向上させます。過

去の例では多読2月後に7割の参加者の読速が向上していました。今年多読をした新入生2名のTOEICは好成績でした。受験後も継続されていますから、多読の効果、楽しさを認めておられると思います。直読直解は、やさしい本から多読すれば誰でも楽しめながらできます。

易しく楽しい本を多読して、英語世界に遊びましょう

酒井邦秀先生（電気通信大学助教授）が普及に努めている無理をさせない多読方式です。1) 英和辞典は使わない、2) 分からなくても気にせず先に進む、3) 進まなければ後回し（本を替える、レベルをいったん下げる）の多読3原則に従います。これでテンポ良く楽しく読みます。集中して英語体験が積めます。絵本、Graded Readers（非英語国民用に語彙、文法のレベルを段階的に編集した学習本）数百冊を使います。易しい本を自分のペースで読んで行けば、徐々に読めるレベルが上がります。単語の意味は、何回も出会ううちに自然と浮かび上がってきます。7割の理解度でも毎分200語以上で読めれば理想ですが、普通は毎分80語から150語で読み続けます。使用する本の語数はSSSという英語多読普及団体から公開されています。それを記録合計して励みにします。半年から2年、100万語から200万語位で大抵の人が、ペーパーバックスを読み始めます。毎分100語でも毎日30分1年で100万語（100冊程度）に到達できます。社会人になっても継続できるのが多読です。

英語との放課後付き合い

きっかけ作りに、保健学科検査技術学専攻では英語多読を1年生専門講義として、来年度から必修化します。参考にした英語学習支援サイトへのリンクページは以下のサイトにあります。では、Happy Reading！

<http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~pmt2001/modules/tinyd9/index.php?id=4>

<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/%7Epmt99/po-login/english/index.html> （学内限定）

なお他の国立大学でも多読本を図書館等に整備始めています。山口大学でも各キャンパス図書館に多数多様な多読本の整備が望まれます。この「私の紹介したい授業」の顔写真は、貴方に付き合ってくれる本の表紙にしました。

学内連絡先

TEL : 0836-22-2857

E-mail : tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp

私の研究

計測的手法を用いた習字学習



岡村 吉永 助教授
教育学部 技術教育教室

習字学習の課題

わが国の伝統文化である書道（毛筆）は、学校教育だけでなく社会教育としても関心が高く、多くの教室や講座（通信教育を含む）が開設されています。しかしその指導方法は、書かれた文字をみて指導者が評価し、助言を与える経験的かつ結果対応型が主で、筆圧や筆の速度など、評価が難しい作業中の技能については、十分な指導が行われていないのが実情です。同様に、学習における最も重要な教材である手本についてみても、そこに示されるのは基本的に墨で書かれた文字であって、結果そのものです。未習熟な学習者にとって、墨の文字だけをみて書き方を推測することは極めて困難であり、技能上達は難しいといわざるを得ません。このような習字あるいは書道学習の問題点を解決するものとして、実施したのが以下の研究です。

書字技能の視覚化

習字といえば、先生が後ろから学習者の手を持ち、筆の動かし方を指導する風景を思い浮かべる方も多いと思います。これは、筆圧や筆速など、視覚では捉えられない、あるいは捉えることが難しい内容を体感的に指導する技法であり、習字が技能学習的な側面を有していることを示す例といえるでしょう。

この毛筆技能を客観的かつ視覚的に評価するものとして開発したのが写真1に示す"技能学習装置"で

す。使い方は簡単で、本体上に半紙を置き、通常どおり書字を行えば、そのときの筆圧や筆の軌跡が作業情報としてパソコン画面に表示されるようになっています。一般的な技能計測のように身体や筆記具等にセンサーを取り付ける必要がなく、筆も日頃使い慣れたものが使用できるなど、学習用を強く意識しています。



写真1：技能学習装置

図1、2は、小学6年生に「永」を書かせたときの測定結果と実際に墨で書いた文字の例です。左側に示す結果は、円の直径が筆圧の大きさ、円の表示間隔（粗密）が筆速を表しています。両図を比べると、メリハリの効いた図1に対し、図2は全体に筆圧が小さく、終筆部等の押さえも十分でないことがわかります。墨の文字を見たときに感じる勢いの差は、こうした筆づかいの違いを反映したものといってよいでしょう。残念ながら、これまでこうした筆づかいを正しく把握し、評価できるのは、限られた一部の熟練者のみでした。

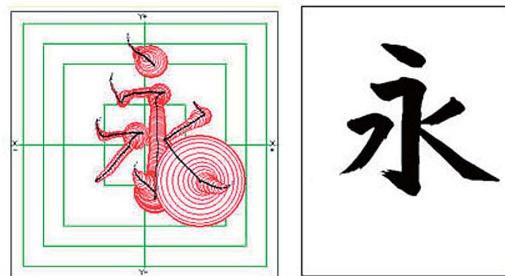


図1：測定例（筆勢のある文字）

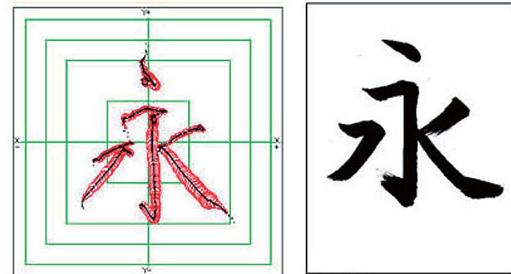


図2：測定例（筆勢の乏しい文字）

計測結果の教材利用

計測結果を診断的に利用するだけでなく、学習効果を高める教材として活用するための検討も行っています。図3は、小学三年生用に開発した手本で、墨で書いた文字に筆圧などの技能情報を合成し、さらに筆順や始筆方向などの補助的情報を加えていました。情報量が多いにもかかわらず、すっきりしていて、書き方は、通常の手本よりもわかりやすいと好評です。

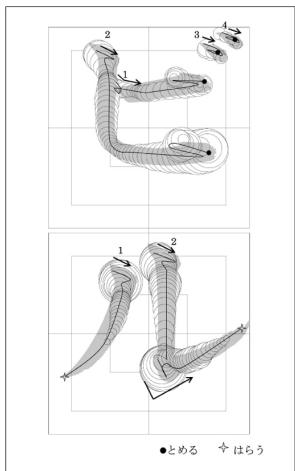


図3：手本の例（小学3年生用）

研究ではこれをさらに進め、半紙に図3の手本を印刷し、直接習字を行わせるということもしました。実験では、まず教材のもとになった熟達者の毛筆作業（パソコンに記録したデータ）をスクリーン上に投影し、筆圧や筆の軌跡をアニメーションで数度再現します。この後、用意した半紙の綴り（何も印刷していない無地半紙を1、3、5、7枚目に、図3

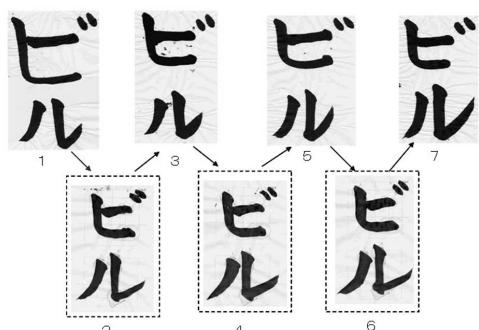


図4：学習例（小学3年生）
上段は、通常の無地半紙を使用
下段は、手本を印刷した半紙を使用

の手本を印刷した半紙を2、4、6枚目に配置したもの）を配布し、上から順に習字を行わせます。図4は、実験において、特に効果が認められた児童の例です。無地半紙に書いた1、3、5、7枚目を比較すると、上達の様子がよくわかります。他の学習者についても同様の傾向で、従来どおりの指導を行ったクラスと比較すると、図5のようになりました。評価は、最終的な作品一枚について実施し、「押さえ」や「払い」といった基本的書字技能に関わるポイント10ヶ所を設定し、正しくできているか否かを上級者に判定してもらっています。両群を比較した結果は、全体的に実験群のポイントが高く、P2およびP9については、有意差も認められました。

さらに研究が必要ですが、書字を行う前に作業に関する十分なイメージトレーニングが行えたこと、また学習中にイメージの修正が行える具体的な教材が用意されていたことが良い効果をもたらしたと考えています。技能を視覚化することによって、単調な反復練習に陥りがちな基礎・基本の学習を効率化し、より高度な学習、すなわち個性や芸術性の追求に早く移行させることができないか、またその時間を増やすことができないかというのがこの研究の趣旨です。

最後に、本研究の一部は、山口TLOならびに知的財本部のご支援により特許（第3799417、第3817627）を取得することができました。

この場をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

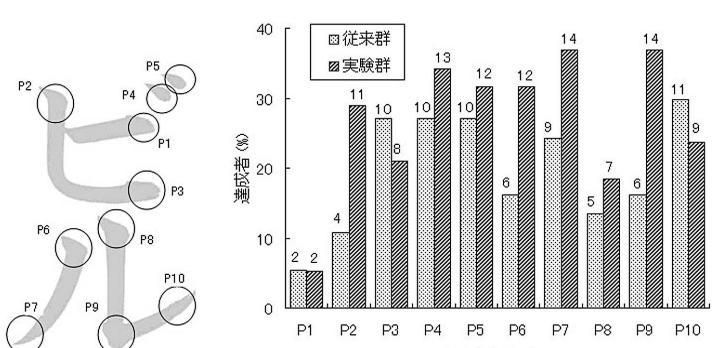


図5：設定したチェックポイントとその達成率

学内連絡先

TEL : 083-933-5397

E-mail : okasun@yamaguchi-u.ac.jp

私の研究

動物の生殖工学



音井 威重 教授
大学院連合獣医学研究科

最近の研究について

私が、動物を対象とした生殖工学を始めて今年で18年目になります。わずか18年ですが、技術革新の速さを実感してきました。この研究分野に携わった当時は、体外受精の華やかな時代がありました。当時、皮膚の細胞から子供ができるとは思いもしなかった良き時代でもありました。

約10年前に体細胞クローン技術によるヒツジ「ドリー」が発表されてから、常識を超えた報告が多くなりました。面白い研究者がいますので、少しご紹介します。扱っている動物種はパンダですが、ご存知のように中国に生息する野生動物です。このパンダは、中国にとって外交上も重要な動物種であり、その保護は重要視されています。この研究者は、パンダの種が絶えないように維持保存する手段として体細胞クローンによるパンダ作製を試みています。彼は、パンダから採取した細胞を発育させるためにウサギの卵母細胞（以下 卵子）に移植しました。移植した卵を普通ならパンダかウサギの子宮に戻すところですが、なんと彼はその卵をネコの子宮に入れて発育を観察しました。もちろん、ネコとパンダの大きさ並びに妊娠期間が違いますので子供にまで成長しないことは明白です。しかし、確率は非常に低いですがネコは妊娠し、子宮内でパンダの遺伝子を持った胎児様物ができることを確認しています。パンダの細胞がウサギの卵子の細胞質を借りて、ネコのお腹で妊娠することは一昔前には考えられなかつ

たことです。こんなことが生殖工学の研究分野では起こっています。

ところで、私の研究の方は、伴侶動物の治療へ展開するためにイヌの細胞をウシの卵子に入れる研究を行っています。わずかですが、この卵が体外で育ちますので、今後の進展を期待しています。

各動物における研究

さて、研究の内容をもう少し詳しく紹介させていただきます。

実際には上記しましたイヌ以外にウシ・ブタ・ネコを対象に生殖工学に関する研究を行っています。すべての動物種における技術は、ウシが基礎となっています。動物種ごとに説明させていただきますと、

(1) ウシ

ウシの安定的・効率的な生産を目指し、体外受精・クローンおよび凍結保存技術の研究開発を行っています。これまでに、ウシの卵子を受精前に凍結保存して、世界で最初の子牛を誕生させています。また、卵巣内で発育途中の卵子を体外で培養し、体外受精により子牛の誕生にも成功しています。これらの研究は、ヒトの不妊治療にも展開できる技術開発あります。現在は、中国山東省の萊陽農学院との共同研究により、遺伝子を導入してBSE耐性牛の作製に取り組んでいます。目的とする遺伝子のほかに光る遺伝子を付けていますので、生まれたウシのどの部位が光るのか興味のある所です。

(2) ブタ

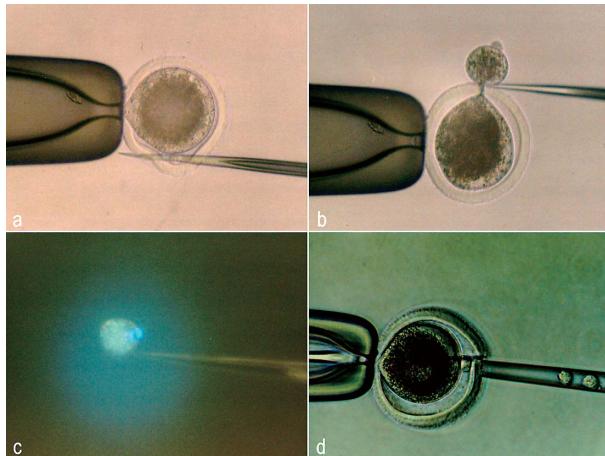
ブタに関する研究は、将来のヒトへの代替臓器作製を視野に入れた研究となっています。現在は基礎的な段階で、体外受精、クローン技術の確立に努めています。

(3) イヌ・ネコ

盲導犬の効率的生産、野生動物の保護・増殖および伴侶動物の治療への展開を視野に、体外受精および体細胞クローン技術の研究開発を行っています。ネコに比較して、イヌの発生工学は非常に難しく、前段で紹介しましたように、体細胞クローンによる体外発育を観察する以外、手法がないのが現状です。

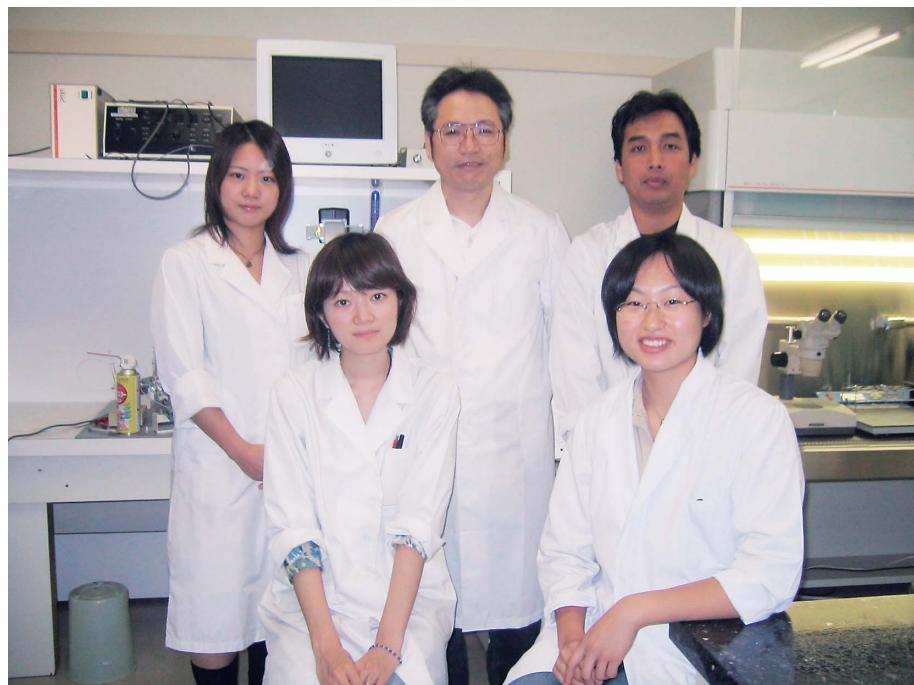
将来は、最適の培養技術を開発して、上記目的を達成したいと思っています。また、ネコの生殖機能をマーカーとした生息環境についても調査しています。

今後も、体外受精・体細胞クローン技術を基本として異種間の胚操作を主なテーマに、より深く研究して行く予定です。



ウシの体細胞クローン胚の作製

- a) 透明帯の穿刺 b) 卵子の染色体を取り除く操作
c) 染色による除核の確認 d) 体細胞を挿入



研究室の院生、学部生（4、5年生）と筆者（中央）

学内連絡先
TEL : 083-933-5904
E-mail : otoi@yamaguchi-u.ac.jp

教員から寄せられた著書

『침략 전쟁(侵略戦争)』

(凡友社・韓国 2006年8月発行)



中国や韓国をはじめとするアジア諸国と日本の間で生じている、所謂「歴史問題」が政治問題化してから久しい。東西冷戦時代に封印されてきた日本の戦争責任や植民地支配責任を問う声が、アジア諸国の民主化の進展に伴って浮上してきました。その意味で「歴史問題」とは、とりわけ東アジアにおける政治環境の変容の結果として争点化していると指摘できます。

これまで日本の対アジア関係史を研究領域としてきた私は、日本の近代化あるいは国民国家化においてアジア諸国に向けて放射され続けた暴力性や抑圧の原因が何處にあるのか、それがまた今日の日本社会においても何故に精算・克服されないのかを考え続けてきました。のために、国内だけでなく、中国・韓国・台湾などの歴史研究者との共同研究や国際シンポを数多く消化してきました。

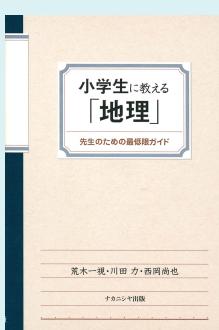
本書『침략 전쟁(侵略戦争)』は、かつて筑摩書房から出版した『侵略戦争』(1999年刊)をベースにした韓国語の翻訳書です。今日、韓国の歴史学界でも日本の植民地支配責任問題に一段と関心が高まっています。韓国が植民地支配から解放された「8月15日」を選んで本書の出版が企画されたのも意味深く、本書は、早速に韓国の大手メディアのひとつである『ハンギョレ新聞』の書評欄に2頁にわたり紹介されました。その他にも『キョンハン新聞』や『連合ニュース』でも取り上げられるなど、韓国の関心の深さを示しています。今年に入ってからも韓国の大学校と研究所で講演の機会を持ちましたが、日本の植民地支配責任や戦争責任を問うことが、両国の歴史和解の第一歩だとするスタンスを強調し、多くの賛同を得たことも付け加えておきます。

なお、私の研究助手を勤めている朴賢珠女史と東アジア研究科で学んでいる朴仁植氏が翻訳を担当してくれました。また、凡友社の編集担当者とも現地ソウルで念入りな打ち合わせを行いました。その意味で同書は、これら韓国人との共同作業によって生み出された書物であると言えます。また、本書の中語訳も完成しており、今秋には台湾で、来春には中国でも出版する予定です。

綱嶺 厚 教授 人文学部 社会情報学講座
TEL : 083-933-5278 E-mail : koketsu@yamaguchi-u.ac.jp

小学生に教える「地理」－先生のための最低限ガイドー

(ナカニシヤ出版 2006年4月発行)



この本は気心の知れた地理学者の友人二人とともに作った本です。それは同時に、小学生の娘を持つ3人の父親の書いた本もあります。愛する娘を学校で教えてくれる先生には、少なくともこのくらいのことは踏まえた上で教えてもらいたいという希望を込めて書いた本もあります。

タイトルはいさかガイドブック調ですが、企画段階において私は「小学校で地理を教える人のために」というタイトルを主張していました。でもそれではちょっとインパクトが弱いと言うことで標記のものになりました。おかげで「中学生に教える「地理」」もあるのかとか、「小学生に教える「理科」」や「国語」もあるのかと聞かれたりもしました（今のところそういう話はありません）。しかし、この本がいわゆる技法や指導法のノウハウやサンプルを示したガイドブックと大きく異なるのは、もっと基本的なところにある「なぜ地理を学ぶのか」ということを意識的に考えさせようとしているところにあります。その意味で、今までにはない地理教育本であると自負しています。

インドの初代首相となるジャワハルラール・ネルーが娘（インディラ、彼女も後にインド首相となる）のために獄中から書いた長い手紙があります。「父が子に語る世界歴史」というタイトルで邦訳も出ています（全8巻になります）。平易な言葉と圧倒的なボリュームを持ったこの本から私が感じたのは、「大事なことは歴史的事実の重箱の隅をつくることよりも、それらをつなぎ合わせてどのような全体像を描くのか」ということです。それは地理においても同じです。地理的知識の豊富さや正確さも大切でしょうが、それらをつなぎ合わせた全体としての世界観をどう描くのかということをもっと意識的に考えてもらいたいのです。ネルーと並べるのははなはだ僭越ですが、この本に込めた思いです。

荒木 一視 助教授 教育学部 社会科教育教室
TEL : 083-933-5320 E-mail : arakih@yamaguchi-u.ac.jp

教員から寄せられた著書

Gaussianプログラムで学ぶ 情報化学・計算化学実験

(堀 憲次・山本豪紀著 丸善 2006年4月発行)



本書は、我々がこれまで行ってきた、計算化学と情報化学を有機的に結合して化学に関する研究を効率的に行う方法、化学を研究する上で有効なコンピュータの利用法に関する入門書としてまとめたものです。

計算化学とは、コンピュータを用いてシュレディンガ方程式やニュートン方程式を数値的に解き、その結果を化学で未解明な問題に適用する、化学の一領域です。一方、情報化学とは、計算化学と同じくコンピュータを用いて化学の研究を行いますが、理論計算ではなくこれまで化学者が行ってきた膨大な実験データをもとにしたデータベースを用いて、化学に有用な知見を得たり、実験結果を予想したりする領域です。これらの方法は、今日の化学に関する研究を遂行するうえで必要不可欠の領域となっています。

本書では、主に実験化学者が周囲にあるパソコンを用いて、計算化学や情報化学を利用する方法をまとめました。第一章には、計算化学実験に関する基礎知識を、第二章では、実験結果を解析するために必要な計算についても記しています。この目的のため、分子の構造最適化、IR、UVスペクトルやNMRケミカルシフトなどの物性値の計算法とその解析法、フロンティア軌道論と反応機構の解析に関する計算化学実験を作成しました。第三章では、第二章で解説した計算化学実験の方法を実際の研究に応用する方法について記述しています。情報化学のトピックとして、NMRのケミカルシフトと合成経路設計の可能性について記述しました。

読者は、パソコンやワークステーションを用いてこれらの実験を行うことにより、計算化学や情報化学計算により得られる結果と実験結果を組み合わせて研究を行う方法について理解することができる構成となっています。さらに詳しく知りたい場合には、本書に記載されている文献が参考になると思います。

堀 憲次 教授 大学院理工学研究科 物質工学系専攻
TEL : 0836-85-9238 E-mail : kenji@yamaguchi-u.ac.jp

入門シリーズ32 斜面の安定・変形解析入門 －基礎から実例まで－

(川井田 実・鵜飼恵三・山本哲朗ほか20人著 (社) 地盤工学会 2006年8月31日発行)



(社) 地盤工学会の入門書として発刊されました。近年、局所的に大雨が降り、洪水災害はもちろん、土砂災害が多発し、場合によっては犠牲者が出ています。わが国は土地事情が大きく関与して、山腹を切り取った斜面に張り付くように集落が存在しています。斜面の地盤が不良な場合には、降雨や地震により斜面が崩壊します。

本書は15名の民間人、8名の大学人による共著です。それぞれの著者の専門の立場から斜面の問題が平易に解説されており、章立ては次のとおりです。第1章 斜面の安定・変形解析はどのような場合に必要か、第2章 斜面安定解析法の種類と特徴、第3章 斜面およびすべり面の土の強度、土質定数の決め方、第4章 斜面对策工の設計と効果判定、第5章 地震時斜面安定・変形解析、第6章 斜面の崩壊事例と安定解析、第7章 斜面安定・変形解析の新しい展開、第8章 海外で用いられている斜面安定解析法、第9章 二次元斜面安定解析のためのプログラム。

著者は6.4不連続面に起因して崩壊した法面の安定性評価を執筆しました。内容は次のとおりです。まず、斜面崩壊の素因となる不連続面の種類をまとめています。また、著者の試作した超簡易現場せん断試験機を用いて、不連続面に沿う土のせん断試験を実施した実験結果を、さらに現場試験が実施できない場合には、貼り合わせ供試体に対する一面せん断試験の実験結果を明示しています。

本書により斜面防災工学の見地から斜面崩壊の原因を知っていただき、自分自身の命を守るためにその対策工を講じることの重要性を認識して欲しいと思います。

山本 哲朗 教授 大学院理工学研究科 システム設計工学系専攻
TEL : 0836-85-9302 E-mail : tyamamot@yamaguchi-u.ac.jp

平成18年度公開講座のお知らせ

講 座 名	受講対象者	開講期間	時間帯
健康づくりのための運動指導講座 講師：森田俊介・塩田正俊・杉浦崇夫・丹 信介（教育学部教授）、曾根涼子（同助教授）、宮田浩文（大学院医学系研究科教授）、上田真寿美（同講師）、河合洋佑（山口大学名誉教授）、松本耕二（山口県立大学助手）、矢野道代（矢野健康体操研究会）	地域の運動指導者や各種学校において健康教育に携わっている方など	5/27、6/17、7/8、11/11、12/9、1/13	13:00～17:00
ヒューマンスクールXVIII「やまぐちの美術史」 講師：河野通孝（山口県立美術館普及課長）、斎藤郁夫（同学芸課長）、岩井共二（同専門学芸員）、石崎泰之（山口県立萩美術館・浦上記念館主任学芸員）、菊屋吉生（教育学部教授）	市民一般	10/4、18、11/1、15、29、12/13	13:30～15:00
やまぐちサタデー・カレッジ2006 外国語学習コース(ドイツ語)「ハイジの世界」 講師：フランツ・ヒンターエーダー=エムデ（人文学部教授）	市民一般・学生	10/7～12/2 (11/11を除く) (毎週土曜 計8回)	15:10～16:40

お問い合わせ

山口大学エクステンションセンター

〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL(083)933-5059 FAX(083)933-5154

E-mail:kyoutu@yamaguchi-u.ac.jp

・電話受付の場合：月曜～金曜 8:30～17:00 (土・日・祝祭日は除く)

表 紙 説 明

【制作：教育学部附属山口中学校第33回学園祭 ダンボール企画班19名】

私たちは「輝き」という今年の学園祭テーマのもとに、ダンボールハウスをつくりました。ダンボールで昭和30年代の代表的な日本家屋のイメージを表現し、つくる私たちも楽しんで、見に来てくださった方々にも笑みが溢れるような、そんな企画にしようと考えました。8月まではなかなか作業が進まず、まとめ役として心配になりましたが、9月9日の展示では予想以上に好評を得ることができました。大変だったけど、今では大切な思い出です。

【表紙デザイン：教育学部附属山口中学校 教諭 野崎 誠】

実は、「ダンボールハウス」づくりの企画は、教員企画として私が立ち上げました。6月に行われた企画案ポスターセッションで気軽にプレゼンをしたところ、沢山の生徒が賛同してくれて企画班として成立してしまいました。

なぜダンボールなのかというと、毎日、学校の資源ゴミ置き場にはダンボールが山のように積み上がっていくので、これを利用しない手はないと思っていたことが一つ。また、昨年のシンボルタワーづくりにも利用し、素材としてその可能性をあれこれ考え続けていたこともあります。そして、何より「つくる側も、見に来るお客様の側も楽しめる企画」ということが念頭にあり、次のことを考えたのです。

①小さい子どもはジャングルジムやおもちゃの家のように身を小さくして潜り込んだりする場所が好きな傾向が強い。②近年、中高年をターゲットにした昭和のなつかしひグッズやドールハウスが人気を呼んでいる。(本校の保護者の年齢層と一致?)

当初の予定よりも細かいところまでは表現できなかったため、生徒も担当の私も満足な出来栄えとは思っていませんでした。ただ、来場された方の反応は上々で、懐かしんでいる方、ダンボールでこんな表現が可能であることに意外性を感じていた方など、沢山の笑顔が見られました。小さい子どもは予想通りみんな入っていました。お客様の反応を見て、ある意味目的は果たせたと達成感をもつたというのが生徒の大半の感想です。

【撮影：教育学部附属山口中学校第33回学園祭 記録広報班】



新聞掲載された山大・地域から見た山大

7月

- ◆ 山大で七夕祭 各種イベント盛りだくさん
エイズカフェ開設
特別展示 (サンデー山口:1日)
- ◆ 「憲法改悪と再編は連動」
纒縝・山大教授 (朝日:3日)
- ◆ 山口市街の変遷紹介 山口大学祭で特別企画
医学部有志はエイズカフェ (サンデー山口:4日)
- ◆ 県内11教育機関が連携
大学コンソーシアムやまぐち発足
質の向上、地域貢献目指す (西日本:5日)
- ◆ 山大工学部が学科再編
「機能材料」募集停止 「循環環境」新設
来年度から
来年度入学者選抜要項発表
(山口・毎日・中国・読売:7日、朝日:12日)
- ◆ 育てた夏野菜を収穫・販売
附属小1年生が体験 (サンデー山口:7日)
- ◆ 自然災害の怖さ知って
萩の2小学で山大大学院山本哲朗教授が授業
(読売:11日)
- ◆ 学校安全対策全国並み 文科省調査
地域との連帯で成果
山口大学教育学部の霜川正幸助教授
(朝日:12日)
- ◆ 観光学ぶ山東省生徒が山大訪問
経済学部など見学 (山口:13日)
- ◆ 山大 コーヒー飲んで国際交流
留学生が学内に喫茶店
日替わりで語学を楽しむ会も
「一般の人も気軽に来て」
(サンデー山口:15日)
- ◆ 付属山口に栄冠 **長東中学校野球大会**
(朝日:17日)
- ◆ 育てた野菜でカレー作ったよ
山大付属山口小1年生ら (山口:19日)
- ◆ P E T - C T 導入へ
がん細胞の早期発見に期待
宇部市のセントヒル病院
山大の専門医常駐 (朝日:26日)
- ◆ 去年より泳げた!
山口・大海小で山大生水泳指導
(山口:27日)
- ◆ 町独自の教育・福祉サービス維持したい
古木哲夫町長に聞く
通過施設にせず積極的活用を
澤喜司郎山口大教授 (朝日:28日)

◆ 山口大医学部

「医心門」が完成
地域医療の使命感新たに (宇部日報:28日)

◆ 人形劇やジャズ演奏

山口大付属病院納涼コンサート

患者と家族ら160人楽しむ (宇部日報:28日)

◆ 秋吉台創生期に形成か 桐ヶ台の穴 石灰洞

調査団報告書 深さ最大93.5メートル

ナウマン象の歯など発掘

田中和広山口大大学院理工学研究科教授

(読売・朝日:28日、中国:8月2日)

◆ 山口大学が目指すもの 一発見し・はぐくみ・ かたちにする 知の広場—

山口大学学長、丸本卓哉氏に聞く

夢、活力ある大学を目指す (読売:29日)

◆ シニアスマーカレッジ参加者募集

山口大学・JTB

選択受講も可能に

8月2日に説明会＆模擬講義

(サンデー山口:29日)

8月

◆ 3図書館が相互協力

やりとり円滑化へ協定
県立・山大・県立大付属

(朝日・山口:1日、宇部日報:3日、西日本:17日)

◆ 「4年間で100冊読もう」

読書マラソン参加の山大生ら
「お勧め度」や感想をまとめ 「P O P カード集」創刊 (毎日:2日)

◆ D R E A M C U P ソーラーカーレース鈴鹿

山大チームが出場

4時間耐久レース 「良い走りを見せたい」

(読売:2日)

◆ 憲法ネット発足1周年

山口で記念講演会

纒縝厚山口大教授ら4人

(朝日:2日)

◆ ひと

一步踏み出すと新しい世界が

山口大大学院理工学研究科長兼工学部長
三浦 房紀さん (宇部日報:2日)

◆ 山大公開講演会

ニュートンとAINシュタイン

(サンデー山口:2日)

◆ 特色ある大学教育支援 文科省

山口大など48件選定

(中国・毎日・日経:5日)

- ◆ 第45回全日本吹奏楽コンクール県大会
大学A 金賞 山口大学文化会吹奏楽部
大学B 金賞 山口大学文化会吹奏楽部
(朝日:7日)
- ◆ 地域医療 担い手育て
山大医学部で現役医師3人講演
高校生ら120人参加
(山口・朝日・宇部日報:8日)
- ◆ 小野(山大)大会新でV 110年障害
西日本七大学陸上競技対抗選手権 (朝日:7日)
- ◆ 山大の魅力 先輩が紹介
オープンキャンパス 企画・運営に学生も
(朝日:8日)
- ◆ 山口でIT事業を成功させるには
29日に「デジ・プロフォーラム」
山口大学生支援センター平尾元彦助教授
(サンデー山口:9日)
- ◆ 山大構内 吉田遺跡に7~8世紀役所跡?
県内最大級の柱が3本出土
(山口・朝日:10日)
- ◆ 読書量の少なさ憂う
山口大教授 山本哲朗氏 58歳 (中国:10日)
- ◆ あす、山大・鴻理会
設立25周年記念公開講演会 (サンデー山口:11日)
- ◆ 教室と企業 映像で結ぶ 山大専門職大学院
本年度から講義で経営者と討論も
(中国:10日、山口:11日)
- ◆ ほっとコラム 大学人の夏休み
山口大学教授 小谷典子 (朝日:13日)
- ◆ 不思議な音はいかが
9学生が製作 異空間感覚も
山口で企画展 (朝日:15日)
- ◆ 北九州、広島市で出前講義
来春から山大大学院技術経営研究科
MOT教育拠点 役割拡大に期待
(宇部日報:16日)
- ◆ 山大工学部 ソーラーカー全国12位
軽量化と空気抵抗減に工夫
37チームの中で健闘 (宇部日報:16日)
- ◆ 気象利用研究会
シンポジウム
「山口県における自然災害と防災」
山口大工学部 (朝日:17日)
- ◆ 医師確保へ懸命の対策 一県・医師会・山口大一
女医部会を設立/再研修の制度/地域枠も
(中国:17日)
- ◆ 山口学生演劇
森田ファンドM&A公演
(サンデー山口:18日)

- ◆ 蘇州日本人学校で研究
山大大学院の相村知美さん
(サンデー山口:19日)
 - ◆ ハーモニー美しく 12団体、中国大会へ
合唱コン県大会
銀賞 山口大混声合唱団
山口大教育学部附属山口中合唱団
(朝日:21日)
 - ◆ 山大工学部で親子防災授業 (読売・山口:23日)
 - ◆ 県産小麦でパンづくり
農業試験場で 山大公開講座
(山口:24日)
 - ◆ 山大大学院技術経営研究科 中小企業整備機構
と提携
教材開発協力 (山口:25日)
 - ◆ 9月1日は防災の日
これからの防災 身近に考えて対処
山口大学大学院理工学研究科教授
山本 哲朗氏に聞く (読売:25日)
 - ◆ 山大農学部連携強化へ 県研究機関と覚書
(山口:26日、読売:9月1日)
 - ◆ 山口大、全国大会へ 吹奏楽コン中国大会
(朝日:27日、サンデー山口:9月2日)
 - ◆ 山大でシニアカレッジ開講
「学生生活楽しみ」
青森、福岡からも参加 山口に2週間滞在
(読売・中国・山口・朝日:29日、朝日:9月13日)
 - ◆ 教室と企業結び「学習」
山口大大学院1月から予定
経営の生の動き反映 (朝日:30日)
- ## 9月
- ◆ 霜仁会が県教委にAED1台を寄贈
山大医学部卒業生 (山口:1日)
 - ◆ 山大医学部付属病院 無菌室7床完成
県内最大規模 きょうから使用
(朝日・読売:1日)
 - ◆ 模型使い、液状化現象学ぶ 一周南一
山大大学院山本 哲朗教授
余市小で防災授業 (山口:14日)
 - ◆ 山口の美術史受講者を募集
山口大が公開講座 (朝日:17日)
 - ◆ 「防災への関心高めて」 一山口市一
山大三浦 房紀工学部長講演 (読売:17日)
 - ◆ ほっとコラム 村と町をつなぐ人とアート
山口大学教授 小谷 典子 (朝日:18日)
 - ◆ 山大、県立大生21・22日に演劇公演
(サンデー山口:20日)

- ◆ 山大・観光政策学科
ICタグ使った観光客動態調査
萩市内で実験開始(山口:21日、朝日:10月5日)
- ◆ シンポジウム「留学生の異文化適応パターン」
(朝日:21日、サンデー山口:27日)
- ◆ 山口大医学部軽音楽部ラテンエコーズ秋季定期演奏会
(朝日:21日)
- ◆ 山口大混声が大学Bで金賞
(朝日:24日)
- ◆ AED 1台を下関市に贈る
山大医学部同窓会
(山口:23日)
- ◆ 山口大知的財産フォーラム
理工系学生ら50人聴講
(山口:24日、宇部日報:27日)
- ◆ 建築学会設計競技 日本一の快挙
山大大学院内田研究室の3人
新宅 健さん、三好 宏史さん、山下 敦さん
炭都の象徴“長生炭鉱”モチーフ
海辺の快適空間を提案 (宇部日報:27日)
- ◆ 楽しくリサイクルを学ぶ エコパークまつり
山口大学長畠 実教授「どうなる どうする
地球環境とわたしたち の未来」
(サンデー山口:27日)
- ◆ 山大大学院と中小企業整備機構
教材開発で業務提携 (読売:28日)
- ◆ ひらめき☆ときめきサイエンス
－山口大理学部－
(朝日:28日)
- ◆ 湯田温泉に活断層2本
山口大大学院金折裕司教授が発見
推定最大規模M 7～6.8
予測震度割り出しに有効 (読売:30日)
- ◆ 山大医学部同窓会萩市にAED寄贈
(西日本:30日)

10月

- ◆ セカンドオピニオン外来を開設
山大医学部付属病院に開設
「最善の医療選択に役立てて」
(読売・山口:3日、朝日・毎日:4日、中国:27日)
- ◆ 応用分子生命科学系専攻が発足
－山口大大学院－
バイオ研究人材育成へ (山口:4日)
- ◆ 海溝型地震を再現－防災教育で活用－
山大の山本 哲朗教授らが装置開発
(山口・読売・朝日:7日、毎日:18日)
- ◆ 10日に山大で二井知事講演
(山口:7日)
- ◆ 豊富な湯 活断層のおかげ－山口・湯田温泉－
山口大大学院田中 和広研究室
安川 知里さんが学会で報告
地下水の「水みち」に (読売:11日)

- ◆ 大学も地産地消、県産米に切り替え好評
－医学・工学部の生協食堂－(宇部日報:12日)
- ◆ 23日に山大経済学部学術講演会 (山口:15日)
- ◆ ほっとコラム
必要は発明の母なり
山口大学教授 小谷 典子 (朝日:15日)
- ◆ 医学への貢献感謝 解剖献体者慰靈祭
－山大医学部－ (山口:14日、朝日:20日)
- ◆ 全国大会『完全燃焼だ』
全日本吹奏楽に出場の山口大
21日開幕 高い技術表現豊かに (朝日:16日)
- ◆ **声** 寄稿文
命の大切さを生徒に教えよ
大学院教授山本 哲朗 (朝日:20日)
- ◆ 土器で炊いた古代米味わう－山口－
山口大学埋蔵文化財資料館主催 (読売:22日)
- ◆ 増加する大学生の自殺 サイン見逃すな
山口大 防止マニュアル作り
－山口大・大学教育機構学生支援センター－
「自分なんか・・・」発言 手紙や日記を焼く
具体例列記接し方も助言 (読売:23日)
- ◆ 裁判員制度テーマ 河村検事正が講演
－山大経済学部－ (山口:24日)
- ◆ 丸本・山口大学長「財政改善は順調」
就任半年で会見 (山口:25日)
- ◆ 地震の仕組み分かった
山大大学院山本教授
宇部・西岐波小で防災授業 (毎日:25日)
- ◆ 山口ネットワークス(松下)・山口大
患者の動画解析し通知 システム商品化へ
(中国:27日)
- ◆ **寄稿** 山口大学大学院理工学研究科 山本哲朗教授
現行の建築確認申請で泣く住民 (山口:28日)
- ◆ ものづくり教育紹介－山大工学部－
今年のシンポ「プロダクトデザイン」テーマ
(山口:28日)
- ◆ 「緊張したが、完全燃焼」
全日本吹奏楽コンクール
銀賞・山口大の伊東部長 (朝日:29日)
- ◆ 山大の丸本学長が講演－西日本技術士大会－
来月2日山口市で 環境保全などテーマ
(西日本:30日)

編集後記

今年は景気がよくなり、求人状況も好転して、学生の就職活動も多少は厳しさが緩んだようです。卒業時の景気によって人生の運・不運があるよう見えますが、私のゼミ生を見ている限り、あまり関係ないようです。バブル期に大銀行に就職し、その後その銀行が倒産したというケースもありました。しかし、就職が個々の学生にとって「人生の一大事」であることに変わりありません。また最近は就職後数年間のうちに離職・転職する者が急増しており、就職することも大事ですが、自分の天職を見つけることも更に重要になっています。

本号は従来通り企業・学生・大学という就職活動の関係者の発言を特集しましたが、もう一人の関係者、「保護者」からも寄稿していただきました。また各種のアンケートでは高校生が大学を選ぶ際の関心事に、卒業生がどこに就職しているのかがランキングの上位にあるので、各学部の就職者数上位企業を掲載しました。

まだ就職活動を継続している4年生、来年に向けて始動した3年生の健闘を祈っています。

(河野 真治)

◎山口大学 Web ページ <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学広報第八十一号

平成十八年十一月三十日発行

編集発行 山口大学広報戦略委員会

(総務部 総務課)

住所..山口市吉田一六七七一
電話..(083)933315007
FAX..(083)933315013

E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

印刷..□□一一印刷

広報戦略委員会委員

平田 井上	田中 重巳	糸長 均	瀧本 雅弘	長畑 浩一	中市 実	浜本 義彦	武藤 正彦	白石 清	河野 真治	塩田 正俊	平野 芳信	福田 隆真	村田 秀一	(企画広報担当副学長)
博教	(事務局)					統三 <small>せうさん</small>	義彦 <small>ぎげん</small>	正彦 <small>まさひこ</small>	（医学部）	（理学部）	（人文学部）	（教育学部）		
						（農学部）	（工学部）							

※ 次号は3月下旬発行予定です。(5月・7月・11月・3月の年4回発行予定)